



身体踊る 心躍る

- 2 さとやま庄原夏まつり
- 4 特集 思いを力に
- 12 自治振興区活動促進補助事業採択決定
- 14 庄原市青少年友好訪問団交流報告
- 16 庄原中学校改築工事基本設計完了
- 18 いよいよ開幕!! 庄原さとやま博
- 22 市政懇談会が変わります
- 25 健康広場「教えて! 認知症予防」
- 26 市政トピックス
- 28 カメラレポート
- 32 お知らせ

第30回庄原いとこ祭のメインパレード。今年は、豪雨災害を考慮し祭りの開催を見合わせることも検討されましたが、復興に向けて被災者の方々に元氣付けたいとの思いから予定通り開催。パレード参加団体は「がんばれ庄原!」と復興を願ったパネルなどを掲げて練り歩きました。(関連記事2~11ページ)



(平成19年10月15日撮影)

Vol.16
 「巨大アートなかつくに公園」
 しょうばら 百景

庄原市総領町と三次市にまたがる灰塚ダム。総領地域には副ダムである「川井堰堤(えんてい)」と高水敷を利用した「なかつくに公園」「田総の里スポーツ公園」があります。写真は、そのうちダム湖上流端にある広大な親水公園「なかつくに公園」をふるさとセンター・田総裏手にある川平山城跡地から撮影したものです。大きな公園なので背丈から公園を見渡しても全体はよくわかりませんが、この場所から見ると、やさしい曲線を描いた巨大彫刻が浮かび上がります。岡崎乾二郎デザインの曲線美は、公園を歩くたびに新しい景色をのぞかせてくれます。

和田 芳治(総領町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもろもろ人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。
 応募先
 〒727-8501
 庄原市中本町一丁目10番1号
 庄原市企画課広報統計係
 ☎0824-73-1159
 メール kikaku-toukei@city.shobara.hiroshima.jp

「新築そっくりさん」を見てください。

地球にもやさしい、住まいの再生と新築そっくりさん

拝啓
 皆様ありがとうございます。お返しは、
 今度こそ、ぜひ、ご来社ください。
 大変、お世話になりました。お礼申し上げます。
 敬具

住友不動産 建設業登録 国土交通大臣許可 (特-17) 第4638号
 新築そっくりさん 広島東営業所
 〒739-0011 広島市西条本町7-29(林ビル1階) FAX (082) 423-1751 【受付時間】9:00~18:00 【定休日】水曜日
 0120-356-218
 新築そっくりさん で検索 http://www.sokkuri3.com/

資料請求券
 資料にのせ、お電話で
 送って下さい。



9



8 西城川太鼓

西城川太鼓

西城川太鼓



1



10



12



13

14



2



11



13

祭 さとやま庄原夏まつり

猛暑となった今年の夏。元気はじけるパレードや地域の盆踊りなど、市内各地の祭りをカメラで追いました。

S a t o y a m a S h o b a r a s u m m e r f e s t i v a l 2 0 1 0

7月31日 七夕まつりinふるさと高野 9

8月15日 比和ふるさとの盆踊り花火大会 11

7月31日 総領夏祭り 12

8月15日 東城「遊夏祭」 10

8月13日 ヒバゴン郷どえりゃあ祭 8

8月20~22日 庄原よいところ祭 1~7 13~18



16



15



5



4



18



17



7



6



3

特
SPECIAL
集

思いを力に

ちから



災害発生から、2カ月が過ぎようとしていきます。

この間、復興を願う多くのボランティアの方が駆け付け、救護物資・義援金が届けられるとともに、添えられた励ましメッセージが、復興への力になっています。

多くのあたたかいお気持ち、本当にありがとうございます。

広がる支援の輪

01 災害ボランティアの受け入れ体制をいち早く整える

庄原市社会福祉協議会は、災害ボランティアセンター本部を立ち上げ、市内外から多くのボランティアの方々を受け入れるなど、被災者支援に取り組まれました。

庄原市社会福祉協議会 総合センター長

上田 正之 さん



「大変なことが起っていると」

一報は、当日の夕方6時半ごろ市から入りました。

間もなく問い合わせが入り始めた中、夜7時ごろから救護物資を避難所などに届ける作業を始めました。

毛布やタオル、石鹸などの日常生活セットや安眠セットが詰まった赤字の救護物資を夜11時ごろまで届けて回りました。翌日も、朝6時から夜10時くらいまで救護物資を届けました。

595人のボランティアが駆けつける

災 害ボランティアセンターを立ち上げたのが17日でした。その日の午後から広島県社協ボランティアセンターと連絡を取り合い、翌18日からボランティアの方に被災地へ入っていただきました。

ボランティアは延べ595人(8月8日現在)に上りました。救援要請のあった33世帯に向かい、家屋内の泥や流木などを運び出す作業を行いました。私たち職員も日替わりで一緒に作業を行いました。

被災者の方に元気をもらおう

業を行いました。阪神淡路大震災などの被災経験のある県外の方からも声を掛けていただきました。遠くから手弁当でも駆け付けたいという言葉に、本当にありがたく思いました。

少 しずつでも何とかしてあげたい」という思いで作業に駆けつけました。

ボランティアを受けた被災者の声

五島 崇夫 さん



西城町大戸にある妻の姉夫婦宅が土砂や流木による浸水被害に遭いました。幸いに2人も無事でしたが、家も周辺もひどい状況でした。姉夫婦は高齢で、避難所にいたこともあり、その日動くことができた私が災害ボランティアをお願いしました。7月27日から8月3日までをお願いました。7月27日から8月3日まで、たくさんの方に作業を行っていただきました。被災した当初、あまりのひどい状況に姉夫婦は家を出て行くことも考えたようですが、こんなに短時間で復旧してもらえるととは思わず、ほっとしたようです。本当に多くの方に来ていただき、また親身になって作業にあたっていただい



空家のため手付かずになっている隣家の状況



30度を超える猛暑の中で作業を行うボランティアの方たち

普段の暮らしの支援を進めたい

8 月5日に災害ボランティアセンターは一旦閉じましたが、以降通常のボランティアセンターで継続して支援体制をとっています。

一段落した今は日常生活への支援が必要になります。今後は、独居の方や高齢者の方たちを中心とした日常生活支援を市や地元振興区と連携して取り組みたいと思います。

思いを力に。

当初の計画としては、西城川の三次

延べ191人が作業に従事

今回のボランティアは、平成18年の豪雪の際、除雪のボランティアに庄原市へ行ったのがきっかけです。当時、各家の軒先へ案内してもらいながら作業を行いました。今回は、庄原市災害対策本部からも要請があり、国土交通省三次河川国道事務所とも相談して、作業を行いました。とにかくものすごい被害状況で涙が出そうになりました。何とかしたいという強い思いにかられました。

きっかけは豪雪ボランティア



尾道松江線建設工事
安全対策協議会 会長

しも かげ まさとし
下隠 公俊 さん

尾道松江線工事請負業者が被災地で流木などの撤去作業にあたり、復興に向け大きな力を発揮しました。

03 土木業者が流木などの撤去作業で復旧支援

町から庄原市の境までの区間で、流れてきた流木を撤去する予定でした。しかし、庄原市長から協力要請を受けたこともあり途中で方針を代え、庄原市内の災害の大きいところ、川北の重行と西城の大戸に分かれて現地に入りました。24日の夜から重機を持ち込み、30日までの計5日間流木などの撤去作業を行いました。当協議会は38社で構成し、すべての会社が作業にあたりました。重機延べ55台、作業員延べ191人がボランティア作業にあたりました。大戸地区ではあわせて700トンの流木を運び出しました。が、災害現場が広く被害も大きかったこともありどこを作業したのかわからないほどでした。

ただ作業員は頑張ってくれました。その中で一番心配したのが熱中症です。作業員には特にこの部分を注意するように言いました。ボランティアで怪我や病気になるのでは意味がありません。1時間に1回は必ず休憩をとるように指示しました。

復興を願って

とは言いながら、ボランティアというのは正直しんどい部分もあります。しかし、作業を終えて事務所まで帰ってきて解散するときには、作業にあたった一人ひとりがやり切ったという達成感から、清々しい表情をしていたのが印象的でした。特に若い人が頑張ってくれましたし、地域の方々から感謝され、わずかでも庄原市民の皆さんの力になれたことが本当にうれしかったです。一日も早い復興を心から願っています。



がんばれ庄原!ステッカーを貼り作業にあたる



北自治振興区 区長

すみだ てつや
住田 鉄也 さん

02 地元自治振興区が被災者を支援

被災地である川北町、西城町、川西町の地元自治振興区では、被災者の方へ心の通った支援活動を行っています。建物被害が大きく、未だ多くの方が避難生活をされている北自治振興区では、災害・被災者支援対策本部を設置し、被災者支援に取り組みされました。

信じられない光景

16日の夕方からの雨はとにかく凄まじかった。信じられないような光景・情報に、地獄に落ち入るような思いでした。被災された方々にどのような言葉をお掛けすればいいのか、絶句しました。

災害被災者支援対策本部設置へ

急ぎよ、支援体制を整えるため、5班編成による災害・被災者支援対策本部を設置し、具体的な支援活動を進めていく方針を定めました。翌日早朝にはスタッフのほとんどがセンターに

日ごとの活動が支援活動の成果に

北自治振興区は、自治振興センターが拠点となり、自分たちでできることはみんなできていこうという住民自治の本質を基に「みんなで暮らす地域」として求められるものは何か。そのためには地域をよく見て共に考え話し合っ、協働の力で元気を生み出す地域づくりに挑戦する」を目標に掲げ、14の自治会を軸に、組織的な自治振興区活動を行っています。

その中でも特に意を注いできたのが広報部による活動です。月に2回自治振興区だよりを発行していますが、それぞれの自治会で起きた出来事などの情報を区民の皆さんにしっかりと伝え、小さなことでも取り上げ情報を共有していくことで一体感が生まれ、振興区の活動の活性化につながっています。

この礎があったことで、今回のような緊急非常事態にも「みんなががんば

ろう」を合言葉に対策本部へ移行し活動を展開することができたのだと思います。

献身的な支援スタッフに感謝

女性が給食班の中心となり、毎日三食の炊き出しを行ってくれました。ボランティアの方、地域の庄原同人病院の職員の方も駆けつけていただき、避難所や被災家庭の方々のごところなどに、食事を配達してくださいました。被災された方々の健康を案じ、栄養士の方がメニューを考え、趣向を凝らしながら、被災された方々への思いに少しでも応えられるようみんな献身的に頑張っていたきました。

こうした各班によるみんなの動き、頑張りの営みすべてが組織活動として実を結んでいることに、スタッフの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

補完的役割を担いたい

災害・被災者支援対策本部は編成を解き、現在は振興区の既存の組織で対応しています。防災防犯部を中心にそれぞれの部も引き続き支援活動を行っていくことにしています。

これからは、被災者の方々に思いをはせ、心の支えとしてお役に立つことが私たちの役目だと思っています。それには地域の力が欠かせません。みんな

「がんばれ庄原」被災地へメッセージ

私たちは普段、尾道松江線の工事にあたっています。工事区間が庄原市を通る区間があることもあり、いつも住民の皆さんに迷惑を掛けているので工事業者としてできるだけ協力をしたいという思いでした。

どうしてボランティアをするのかと聞かれることがありますが、現地を見て、とにかく何か力になりたいという気持ちでした。作業を終え、地元の人には大変喜んでいただきましたが、実際には大した作業をしたわけではありません。私たちはとにかく「がんばれ庄原」と庄原市民を応援する思いでいっぱいです。

なの思いをしっかりとつないで元気を生み出す地域づくりを心がけることが重要だと思っています。行政にしかできない部分は行政でしっかりやっていただき、そのためには、私たちが被災者と行政との中間的・補完的役割を担いたいと思っています。被災者の方々の思いや願いを行政に伝えていきたい。行政と地域とがともに一体となって被災者の方々の支援していくことが何より大切です。



被災者に手づくりの豆腐などを届ける北自治振興区のメンバー

Thank you for a message

災害義援金や 救援物資が 日本中から届く

日本全国から、多くの義援金と救援物資が届き、その中には被災地や被災者に宛てた心温まる応援メッセージが添えられています。その一部をご紹介します。

この度の災害、何と申してよいかわからないほど心が痛みます。どれだけ涙を流され、苦悩の中にいらっしゃるでしょう。何もできず申し訳ありません。皆さまの健康と幸せを願っております。一日も早く笑顔になりますように。私の作っている石けんです。アロマオイルの香りや石けんの使い心地で少しでもお力になれば幸いです。

大分県佐伯市 女性

連日の猛暑で身も心もクタクタになられているのではないかとと思うと何かせざるにいられません。焼け石に水かも知れませんがお役に立ててください。

広島市 女性

どうぞ元気を出して頑張ってください。昨夜第1回高原ファミリーコンサートを開催し、50人の参加でしたが皆さん気持ちよく募金に協力してくださいました。

神石高原町 女性

予期せぬ大事にさぞお疲れ多いことと思います。小さな小さな門前市、老幼の集まりをお届けします。遠くで案じている者がたくさん居ることを励みに、良い時々が戻れますようお祈りします。

埼玉県川口市 西田会

テレビで家を流された方が身ひとつで命が助かったとおっしゃっているのを見ました。暑い中着替えもなくご不自由とと思いますので取り急ぎ衣類を送らせていただきます。お役に立てるとうれしく存じます。

東京都 女性

歴史上まれな集中豪雨で大惨事と聞いております。どうか一日も早く、復興ができますことを祈念しております。庄原市内で生まれ、庄原格致高校の卒業生として募金させていただきます。

東京庄原格致会役員有志一同

私も西城川で産湯をつかった者です。大変心を痛めております。昭和46年には実家も水没し、田畑がダメになりました。しかし人はコツコツと立ち上がり、再生を必ず成し遂げます。どうぞお体にご自愛くださいませ。

広島市 女性

このたびのこと、自然の力とはいえ悲しみに耐えません。自然の猛威に負けないまちづくりを願っています。着古したものを失礼とは存じましたが、ほんの急場しのぎに使っていただけたら幸いに存じます。

東京都練馬区 女性

梅雨明け宣言ですが、ニュースを見るたびに大雨被害が報道され、改めて自然災害の恐ろしさを見せつけられました。被害に遭われた方に心からお見舞い申し上げます。取り急ぎ些少ですが災害義援金をお送りさせていただきます。

岡山県倉敷市 男性

先日の豪雨災害で皆さま大変な思いをされていらっしゃると思います。中には身ひとつで逃げ出された方もいらっしゃると知り、何かお役に立てないかと我が家の日用品のストックを詰めました。すべて新品ですので困っていらっしゃる方に使っていただけませんかでしょうか。お手数ですがよろしくお願いします。

兵庫県尼崎市 女性



全国から市役所市民ホールに寄せられた多くの善意

復興へ向けて

一瞬のうちに起こる災害。今回の庄原を襲った災害は、豪雨が引き金です。局地的なゲリラ豪雨は、いつどこで起こるか予測ができません。しかし、何もせずに災害から身を守ることはできません。常に防災を意識し、常日頃からの準備、万が一の備えがとても重要になってきます。

今回の災害における体制や被災者支援などの対応、また、二次災害防止や今後の復旧に向けた取り組みなどを、清水孝清主幹に聞きました。

大変な豪雨災害でした

7月16日の夕方、4〜5時頃四方の狭い範囲へ、短時間のうちに観測史上に残る記録的な豪雨が発生し、あらゆるものに甚大な被害をもたらしました。

残念ながら1人の方が亡くなられ、多くの方が家屋や家財、田んぼや畑など、財産を一瞬のうちに失ってしまいました。

災害対策本部を設置しました

市は、16日に災害対策本部を立ち上げ、少ない情報を集めながら被災地・被災者への支援体制をとりました。これまで経験したことのない

現在の復旧状況は？

大きな災害で、判断に迷う部分が多々ありましたが、他の機関とも協議しながら行方不明者の捜索活動をはじめ、被災地や避難所での救援、本部と現地との連絡調整など対応にあたりました。

現在は、災害対策本部を災害復旧対策本部に移行し、復興へ向けた取り組みを進めています。

被 災現場では、河川や道路の仮復旧、家屋の清掃や片付けなど復旧へ向けて進んでいます。

しかし、全壊の家屋や水田などへ広がった土砂・流木の処理については、まだ手付かずのところが多く残っています。生活の再建については、被災



総務課 庄原市災害対策本部 清水 孝清 主幹

前の場所に家を建て直すのか、別の場所へ再建するのか判断が難しい方がおられます。水田などの復旧についても、農機具などの流失により耕作手段を失った農家もあり、今後の大きな課題になっています。

特に川北町篠堂地区では、集落全体が土石流と流木で覆われているため、復興へ向けての方向性も見えていないのが現状です。

また被災地全体で、家屋の全壊などにより、多くの方々が自宅に帰ることができず、市営住宅などで避難生活を送っておられます。

復興に向けた今後の対策は？

山 の表層をえぐりとられたため跡が300箇所を超えています。

山肌が露出しているところや地盤が弱くなっている箇所、水流の妨げになっている箇所など、二次災害が起きる恐れのあるところがいくつもありません。

復旧を目指し進めていきます。

市民のみなさんへ

今 回の災害は、庄原市でも一部の地域に集中しています。同じ市内でも雨が降らず、どこか遠くの場所でも起きてくる出来事のように感じられたかもしれません。しかし、今回のようなゲリラ豪雨はいつどこで発生するかわかりません。防災対策・災害対策に必要なことは、もしかすると明日わが身に降りかかるかもしれないという心構えです。いざというときのために最低限の持ち出し品を準備しておくなど、日ごろの備えが極めて重

要です。自分の地域の避難所がどこなのかを事前に確認し、そこにたどり着くまでの経路や危険物の有無なども実際に通って調べておくことが自分の身を助けることにつながります。

また、お住まいの地域などで災害避難訓練を実施されるなど、地域での取り組みが災害時の対応に効果を発揮することはもちろん、防災意識の向上にも役立つと思います。

市としても、今回の災害対応で見えた課題を検証するとともに、組織体制や職員間の連携などより高い実効性を追求していきます。

災害に強いまちづくりのために、今後何が必要なのか一緒に考えていきましょう。

あとがき

災害に強いまちとは、まちの施設や環境が安全で快適に整備されていることと同時に、地域の人々が助け合える(共助できる)関係が構築されていることが不可欠と言われます。

今回の豪雨災害で感じたことは、自然災害の恐ろしさと同時に「人の温かさ」でした。全国からの一つ一つの温かい気持ちはもちろんですが、何とかしたい、被災者のためにできるだけのことをしてあげたい、というその思いを強く感じることができました。困つ

たときに助け合えることが、本来の地域の姿であり、人と人とのつながりだと思います。もつとも、今回の災害の大きさからさらなる被害が出ていても不思議ではありませんでしたが、それを救ったのもお隣同士の声かけ助け合い、地域の絆(きずな)でした。「人のために」というみなさんの思いが本当にまっすぐだったこと。とても心強く感じました。

今回の特集で載せきれない思いがまだまだたくさんあります。全国から寄せられた思いを復興への力に変えて、一日も早い復興を目指しましょう。



申請された事業内容は、それぞれ地域を改善するために必要不可欠な内容が盛り込まれ、皆さんの地域社会にかかわる日ごろの努力がよく表れています。皆さんの熱い思いが、事業の実現に向けた地域のさらなる飛躍になることを期待します。



審査会 会長
広島県立大学 名誉教授
野原 建一 さん

◎地域のさらなる飛躍に期待

活動促進補助事業への取り組みは、地域課題を検証し、住民協働の実践が進むという点で、「地域づくり人づくり」に大きな役割を果たしてきています。今後この制度を活用し「笑顔あふれる協働による地域づくり」にチャレンジしたいと思います。



庄原市自治振興区
連合協議会 会長
永井 忠司 さん

◎協働による地域づくりにチャレンジ

地域の特徴を活かした21事業を採択



自治振興区活動促進補助事業

自治振興課自治振興係 ☎0824-73-1209

地域課題の解決や地域づくり活動などを支援する「自治振興区活動促進補助金」の本年度採択事業が決定しました。本年度は17自治振興区から21事業の申請があり、審査を経てすべての事業が採択されました。この事業は、地域の将来像や地域課題の解決に向けた取り組みなどをまとめた「地域振興計画」に基づき、地域の皆さんが創意工夫を図り実施するものです。単年度で取り組む事業や複数年度にわたって取り組む事業など、地域の活性化や住民への波及効果などを生み、地域の「元氣」と「やすらぎ」につながっています。本年度も、地域の特徴を活かした事業が展開されます。歴史を形に残し広くPRする事業のほか、環境整備などに取り組み自治振興区が多くみられます。また、地域の産品を利用し新たな特産品開発の取り組みにならねていく収益事業への展開も進められています。多くの自治振興区がこの事業を利用し、地域の「夢」を「カタチ」にできました。今後も「夢」の実現に向けた取り組みに期待しています。

平成22年度自治振興区活動促進補助金採択事業一覧表

地域	自治振興区	事業名	事業概要	補助金交付額
庄原	東自治振興区	陶芸&土鈴教室 陶芸釜更新事業	陶芸釜・手ロクロなどの整備を行い、これまでの活動の更なる活性化と、住民交流を深め「土」をテーマに地域おこしを図る。	1,197,000
	高自治振興区	ふるさとの里山 ふれあい事業	歴史的に高住民が慣れ親しんできた里山に、休憩所及び案内板を設置し、地域の自然と文化に触れる場を整備することで、ふるさとに対する愛着心の醸成を図る。	1,071,000
	庄原自治振興区	宮内史蹟 保存・伝承事業	地域外から訪れる方のために駐車場の整備と史跡としての再現に取り組んできた間歩の保存のため、補強工事を行う。	1,470,000
	山内自治振興区	平和と交流による 地域づくり事業	山内地域で亡くなられた被爆者のため、地区で慰霊碑を建立し毎年慰霊祭を行っている。慰霊碑広場整備を行い、高齢者等の参拝の安全性を確保することで、参拝者の増加をはかり、惨禍を繰り返さないための教育に活用する。	840,000
	山内自治振興区	歴史的資源を活用した 地域づくり事業	山内地区内の歴史的資源、主だった施設、設備、行事や見所を一冊の冊子にまとめ、ガイドマップをつくり、地域内外に情報発信することで来訪者を増やし地域の活性化を図る。またガイドボランティアの育成も図る。	552,000
	敷信自治振興区	地域交流拠点施設 整備事業	地域内の空き家を、地域の交流施設として整備し有効利用を図ることで、敷信らしさの醸成と敷信ブランド確立を図る。	2,640,000
	峰田自治振興区	花の植栽事業	水仙の植栽による地域共通の話題づくりや、他の植物の研究も行う地域を花で飾ることで心を豊かにし、地域の活性化につなげる。	537,000
	峰田自治振興区	青嶽山公園 環境整備事業	青嶽山公園の夜間利用のための電源設備の改修および、イベント用簡易移動舞台の購入により、青嶽山公園の利用促進と地域活性化を図る。	761,000
西城	入江自治区	入江デイホーム事業	外出が困難な高齢者のため、地域ボランティアによる「入江デイホーム事業」を実施するための設備整備を行う。地域のボランティア活動の促進や世代間交流を行い、地域住民自らの力で地域環境を整える。	1,006,000
	三坂地区自治振興区	星空映画上映会 推進事業	「子ども」をターゲットと捉え、屋外での映画上映会を開催することにより、子どもとその保護者など地域内外の人が交流する機会を作り、地域の資源である豊かな自然の魅力をアピールする。また、人と人との交流から地域活性化のきっかけとする。	977,000

地域	自治振興区	事業名	事業概要	補助金交付額
高野	岡大内自治振興区	岡大内ガイドマップ・ ビデオ作製事業	尾道松江線の開通に伴い、建設が予定されている道の駅から地域内へと来訪者を誘導し地域の活性化を図るため地域の資源を自らが発掘し、ガイドマップ・DVDの作製を行い、岡大内の魅力を発信する。	464,000
	高暮自治振興区	高暮農産物加工施設 事業	加工所の増改築を行い、仕出し・惣菜加工施設の認可を受け、地元産の食材を活かした加工品販売を目指す。	3,000,000
東城	八幡自治振興区	森湯谷エドヒガン桜 周辺整備事業	「森湯谷エドヒガン桜」の来訪者受け入れのための周辺整備を行う。また、保存事業を通して地域交流を図り地域活性化へとつなげる。	3,000,000
	八幡自治振興区	保田「塩野滝」歩道 整備事業	地域の宝である保田「塩野滝」を活用し、地域外からの訪問者の増加と地域の人々の憩いの場として利用し、地域活性化を図るため主要地方道東城西城線からの歩道を整備する。	1,428,000
	戸宇自治振興区	遊休農地活用事業	遊休農地での大豆生産の拡大および「みそ」「豆腐」生産品質向上のため、保管庫、乾燥機を整備する。	1,688,000
	為重自治振興区	ためしげ福寿草の里 整備事業	現状の仮設トイレからバリアフリー化された簡易水洗トイレへと改修を行い、高齢者なども利用しやすい環境を整備し、交流人口の増大を図る。	1,454,000
	川西下自治振興区	川西下自主防災 整備事業	防災意識の啓発のため、講演会を開催する。また、災害時の初期活動に備えるため無線などの備品を整備するとともに、地域内の各世帯人員および要支援者を把握した防災マップを作製し、地域防災力の向上と住民相互の連携強化を図る。	749,000
	帝積自治振興区	帝積自治振興区 教育文化事業	かつて帝積公民館で資料収集し編集した「昔の帝積」全12巻を1巻にまとめ再発行し全戸配布し、学習会などを継続開催することで、地域財産の保護活用および地域行事の継承を図る。	672,000
	久代中自治振興区	ふるさと産品加工所 整備事業	ふるさと産品の開発、販売のため加工施設を整備し、自主財源の確保を図る。	3,000,000
上町自治振興区	人が集い人が輝く オンリーワン 上町事業	「三楽荘」を地域の宝と捉え、春秋のまちなかイベントでの来訪者のおもてなしを行うため、籠の修復や備品の整備を行う。また、ガイドの育成を行い、さらなるおもてなしを図る。	1,572,000	
庄原	敷信自治振興区	敷信定住促進事業	地域出身者への定期的な情報発信やふるさと祭への呼びかけを行い、定住のきっかけをつくる。	182,000

計 28,260,000円

庄原市青少年 友好訪問団

教育指導課 ☎08244731184

交流報告

8月2日から7日にかけて、庄原市青少年友好訪問団が、経済技術友好協力協定を結んでいる中国四川省綿陽市を訪問し、ホームステイを中心に中国の歴史や文化を学びながら現地の人たちと交流を深めてきました。5泊6日の交流を報告します。

期待と不安を胸に出発

今 回の訪問団、市内の小・中学校の児童生徒12人と引率者4人は、8月2日に期待と不安を胸に広島を出発。上海を経由して最初の訪問先、中国陝西省西安に無事到着しました。西安では、唐の時代の都であった長安の城壁や城門、兵馬俑などを展示する歴史博物館を訪れ、中国4千年の歴史に触れました。翌日、西安から四川省成都を経由して、今回の目的地綿陽市へ到着しました。

熱烈な歓迎

綿 陽外国語学校に到着すると、暑い中、校門の前に横一列に整列し手を振りながら出迎えてくれる児童たちと教職員、保護者の皆さんの姿がありました。

校舎正面に設けられた横幅20メートルの巨大電光掲示板には、大きく歓迎の文字が映し出され、綿陽市政府を上げての歓迎ぶりに、訪問団一行は胸を熱くしました。

また学校ホールに招かれると、「熱烈歓迎」「ようこそいらっしゃいました」と書かれた縦5メートル、横10メートルにもおよぶ見事な横断幕が掲げられていました。

通じ合う気持ち

訪 問団の児童生徒たちは、写真パネルを使って庄原市を紹介し、

歌やリコーダー演奏を披露しました。「しあわせなら手をたたこう」を中国語で歌いながら振り付きで踊ったときには、とても盛り上がりました。続いて、綿陽外国語学校の児童が、歌や踊り、書画や琴の演奏を披露。日本語による「さくら」は、訪問団を温かく迎え入れようとする気持ちが伝わってきました。

最後に、両市の児童生徒、教職員が入り混じり、中国の伝統舞踊をみんなで輪になって踊り、心に残る大切な思い出となりました。

その夜の綿陽市政府表敬訪問、歓迎夕食会では、黄正明副市長をはじめ、綿陽市政府および教育局から盛大な歓迎を受けました。改めて、庄原市と綿陽市が築いてきた20年の歴史を感じました。

心通うホームステイ

12 人の児童生徒たちは、歓迎夕食会が開かれた日の夜から、ホームステイ先となる外国語学校児童宅にそれぞれわかれてホームステイに臨みました。慣れない異国、見知らぬ家庭での生活に最初は不安な様子でしたが、温かいもてなしを受けるうちに、お世話になった家族とかけがえない時間を過ごすことができたようです。別れのときには、家族と手に手を取り合って別れを惜しんでいました。

両国の架け橋として

5 泊6日という限られた期間でしたが、言葉は通じなくても心が通い合えば気持ちは通じる。それを身をもって知った貴重な経験になりました。日本からの小さな親善大使は、日中友好という架け橋を確かに築くとともに、この経験が子どもたちの後に生かされ、将来国際的な視野をもちながら、活躍できる人になることを期待しています。



テーブルを囲み交流を深める



中国語でごあいさつ

団長のコメント

庄原市青少年友好訪問団に 随行して

団長 矢倉 文枝 八幡小学校長



友好都市交流二十周年という記念すべき年に、団長として随行し貴重な体験をさせていただきました。深く感謝しています。大きな事故やトラブルもなく、たくさんの方の学びをおみやげに、全員元気に帰国できたことを大変うれしく思います。

今回参加した12人の児童生徒は、海外での初めてのホームステイということで、不安も大きかったと思いますが、積極的にチャレンジする意欲と態度を備え、自己管理能力のすばらしい子ども達でした。コミュニケーション力にも優れ、ホストファミリーの方々との時間を楽しむとともに、団員とも交流を深めるなど、たくましく頼もしい子どもたちです。この体験と出会いを、今後の生き方に生かしてくれると信じています。

現地では、綿陽市副市長様をはじめ、たくさんの方々温かく迎えていただき、綿陽市と庄原市との「友好の絆」の強さと深さを感じることができました。私も今回の学びを今後に生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

参加者のコメント



八幡小6年
宮本 麗 さん



東城中1年
前 翔太 くん

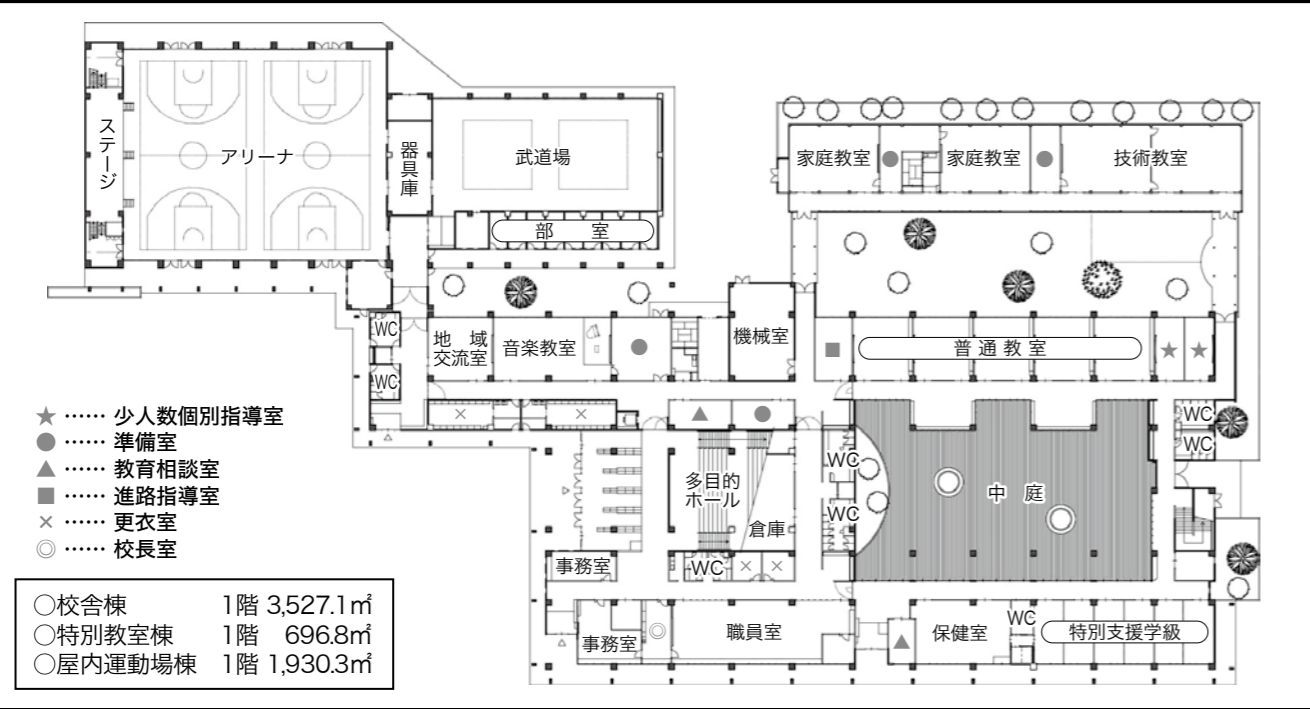
中国は歴史がとても古いで、興味深いことがたくさんありました。中国に行く前は、ホームステイ先の人とコミュニケーションが難しいかなと思いましたが、行ってみると、ホームステイ先のお姉さんが日本語を話せたので、会話がスムーズにいきました。

また多くの経験ができたことは、とてもよい思い出になりました。このことをみんなに伝えて日中友好を深めたいです。庄原市が大変な時期に、こういう機会を与えてくださりありがとうございました。

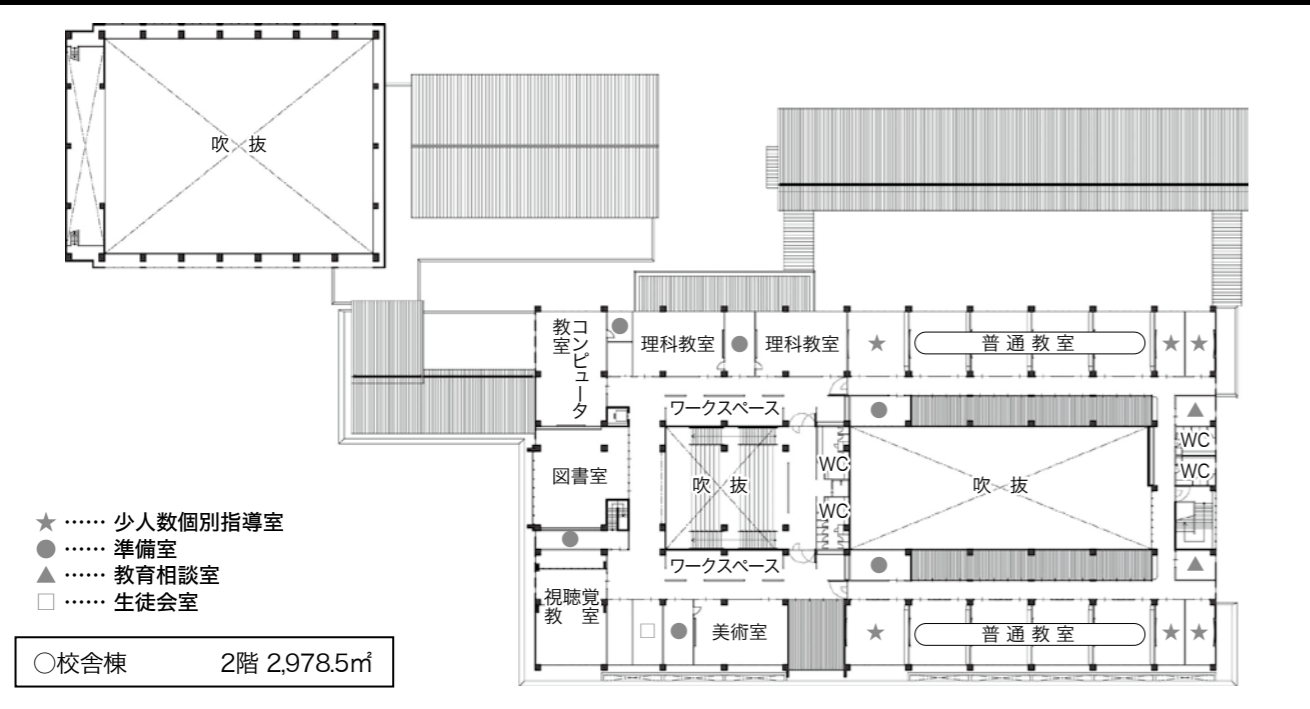
中国は、とても大きな国で驚くことばかりでした。ホームステイでは、中国の家に泊まり、中国の生活を体験できとても楽しかったです。また、改めて庄原市の良さを感ずることができました。

これから学校みんなに、中国で見たり聞いたりしたことを伝えていきたいと思っています。また、これからの学校生活を今まで以上に充実したものになるよう頑張ります。すばらしい機会を作ってください本当にありがとうございました。

1階 平面図



2階 平面図



施設概要

- 計画地 広島県庄原市東本町一丁目54番地1
- 敷地面積 53,299㎡(施設台帳より)
- 延床面積 9,132.7㎡
- 建築面積 6,882.1㎡
- 階数 地上2階建て(一部平屋建て)
- 構造 校舎棟:鉄筋コンクリート造
屋内運動場棟:鉄筋コンクリート造一部木造
特別教室棟:木造 渡り廊下:鉄骨造
- 駐車場 165台(車いす利用者用駐車場4台含む)
- 駐輪場 200台
- 設備 電気設備、給排水衛生設備、
空気調和換気設備、昇降機設備

※基本設計の内容は、実施設計の中で変更となる場合があります。

庄原中学校 改築工事

教育総務課学校管理係 ☎0824-73-1186

基本設計 完了

設計イメージ図



現在(設計イメージ図と同方向)



現在(全景)

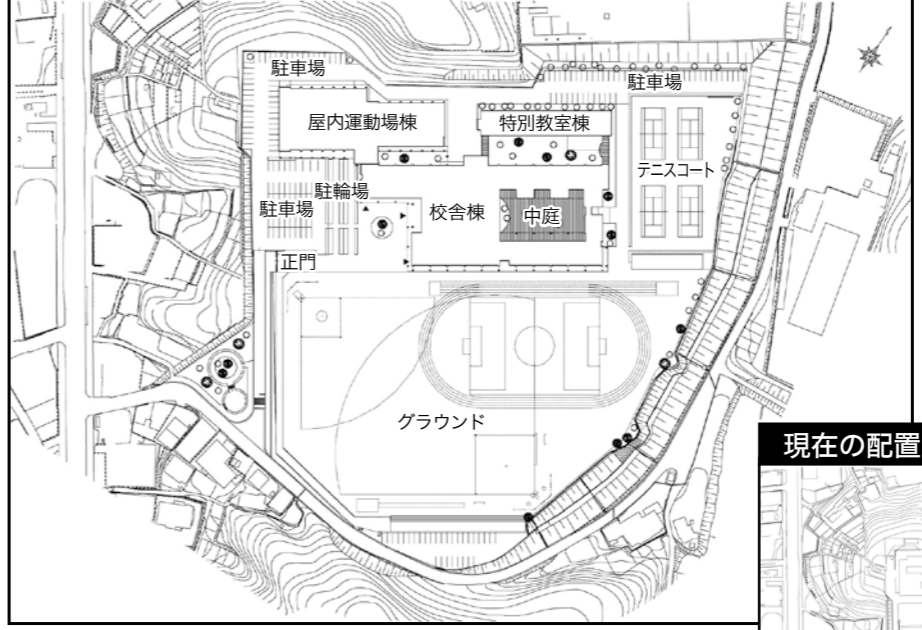
市教育委員会は、本年度から平成25年度まで4年間の計画で、庄原中学校の全面改築を進めています。本年4月から作成作業を進めていました「庄原中学校改築工事基本設計」がこのほど完了しました。

この基本設計では、施設整備の基本理念である「個が輝き未来を創造するエコスクールの実現」を目指し、7つの基本目標に沿って設定した基本項目を具体化するため、学校現場をはじめ、PTA・地域住民・市議会など、多くの関係者の意見や提言を反映させています。

現在、この「基本設計」に基づき、工事に必要な設計図などを作成する「実施設計」に取り掛かっています。

平成23年3月に着手予定の校舎棟建築工事に向けて、引き続き関係者の意見を聴き、工事期間中の教育環境の確保や安全対策などに取り組みながら、改築事業を進めていきます。

配置計画



現在の配置

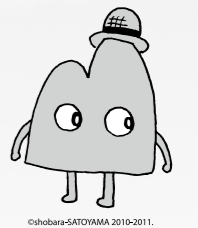


今回は、基本設計の概要について、一部を紹介します。

基本設計は、設計条件などを具体化し、基本的な事項を定める段階の設計です。この概要は、市のホームページで紹介しています。また、事業のスケジュールなどは、広報しょうばら5月号に掲載していますのでご覧ください。

いよいよ開幕!!

再・才・彩・幸・財 みつけ体験・「さい」発見! 庄原さとやま博



2010.10.3開幕 → 2011.11.30

商工観光課 ☎0824-73-1177

10月3日(日)の開幕まで残り一カ月を切り、待ちに待った「庄原さとやま博」がいよいよスタートします。改めてその意義や目的を再確認しながら、開催期間約1年という長いまち博の成功に向け、皆さん一緒に盛り上げていきましょう。

「さい」発見!

「さい」は「再・才・彩・幸・財」の5つを表しています。新たにパビリオンをつくって実施するのではなく、それぞれの「さい」を地域ごとに「発見」し、その魅力を市民の皆さんが活用することで、地域を訪れる観光客との交流が生まれ、感動を共有できる「まち博」として開催します。

市民の皆さんが主役です

庄原さとやま博は、市民の皆さんの協力・参加が必要不可欠です。皆さんの成功体験が増え、それを達成した満足感が得られたとき、新たな魅力として広く発信することにつながります。

幸せを感じる
まちづくりを目指す

この博覧会をきっかけに「見る」「食べる」「学ぶ」「買う」「泊まる」などのサービスが地域に根付き、市民の皆さんが少しでも収入を得ることができるよう観光が定着することを目指します。また、それぞれの地域の観光資源を結び、庄原市全体として観光を産業化する仕組みをつくり、庄原市のイメージアップと観光関連産業の活性化につなげるとともに、住む人はもちろん訪れる人にとっても幸せを感じるまちづくりを目指します。

さとやま博のオープニングを飾る イベントを少し紹介します。

庄原さとやま博 オープニングイベント

●ステージイベント

とき 10月3日(日)10時30分～

●オープニングセレモニー

とき 10月3日(日)11時～

庄原の食が大集合!

●庄原フードフェスティバル

とき 10月2日(土)10時30分～3日(日)

16時

ところ 国営備北丘陵公園

開幕記念イベント

庄原市比和町にゆかりのある、岡本太郎と宮本常一を取り上げた写真展とシンポジウムを開催します。

●「写真が語るさとやま」写真展

とき 10月2日(土)～11月5日(金)

ところ 国営備北丘陵公園エンターテインメントセンター国兼

※入場料はいりませんが、国営備北丘陵公園の入園料が必要です。

●シンポジウム

とき 10月17日(日)13時～

ところ 庄原市ふれあいセンター

定員 250人

内容

◎わがやから再発見(報告)
コメンテーター/山田知子(比治山大学現代化学部准教授)

◎基調講演

講師/赤坂憲雄(福島県立博物館館長・東北芸術工科大学東北文化研究センター所長)

◎パネルディスカッション

演題/写真が語るさとやま

パネリスト/平嶋彰彦(写真家)、中村

慎吾(庄原市立比和自然科学博物館館長・農学博士)・佐々木晶子(広島大学

総合科学部生物圏科学研究科助教)・

金山一宏(写真家)

コーディネーター/佐田尾信作(中国新聞社文化部長)

問い合わせ 庄原市観光キャンペーン実行委員会事務局

☎0824-75-0173

さとやま博をチャンスとにらんだ 活動が広がっています。

農家が儲ける観光を 創りたい

高野町「あつぎ会」

庄原さとやま博に参加しようと、高野町の農業青年グループ「あつぎ会」が8月6日、下高公民館で、実行委員会事務局を招き、意見交換会を開きました。

この日は、リンゴやトマト、ホウレンソウ、コメなどを栽培する会員15人が参加。①庄原フードフェスタ、②体験メニュー、③さとバスツアーの3つの部会に分かれ、農業体験などのメニュー化について考えました。

参加者は「搾りたての牛乳でバターづくり体験はどうか?」「もぎたての果実や野菜のおいしさを味わうツアーをしよう」「トラクターなど農機具の試乗体験もおもしろい」「かまくらやスノーランタンづくりも喜ばれる」...などと、さまざまなアイデアを出しながら、喜ばれる仕掛けや、儲ける仕組みについて知恵を絞りました。



アイデアを出し合う会員

峠満重毅会長は「庄原さとやま博で、農家が儲ける観光を創ることが目標。今日出たアイデアをカタチにして、高野町の魅力を広く発信していきたい」と話していました。

今後、実行委員会事務局でアイデアをまとめ、庄原さとやま博の実施に向け、準備が進められます。



写真:NPO法人アースランド フォト ネットワーク

問い合わせ先
企画課広報統計係
☎0824731159

いよいよ今月下旬から、国勢調査が始まります。調査は、下にあるような流れで行います。短い期間での調査になりますので、調査票を受け取ったから早めに記入し、10月7日(木)までに調査員へ手渡すか郵送で提出してください。

みなさん一人一人からの回答が、今の日本、世界の中での日本を映す鏡になります。国勢調査へのご協力と、調査活動へのご支援をお願いします。



10月1日は 国勢調査

National census
ニッポンの今を知り、
未来をつくるための調査です。

9月下旬

調査員が調査票の配布に伺います。
調査票1枚に4人分記入できますので、世帯員全員が記入できる枚数を教えてください。調査票とその他の書類を茶封筒に入れてお渡します。

10月1日

調査票に世帯員全員の状況を記入します。記入の仕方などでわからないことがありましたら、コールセンターへお問い合わせください。
【コールセンター電話】☎0570-01-2010 IP電話・PHSの場合 ☎03-6738-6677
※9月11日から10月31日まで 毎日 午前8時～午後9時

10月7日まで

調査員が再度訪問します。
記入した調査票を茶封筒に入れ、封をして調査員にお渡しください。
調査票の入った茶封筒は、そのまま市役所へ届けられます。
また、調査員へ手渡すことが困難など、郵送提出を希望される場合は、調査票を三つ折にして水色の郵送提出用封筒に入れて、10月7日までに郵送してください(切手は不要です)。

10月8日以降

「調査票の提出の確認について」などの文書が届くことがあります。
もし、調査票の提出がお済みでない場合は、郵送などで速やかに提出をお願いします。

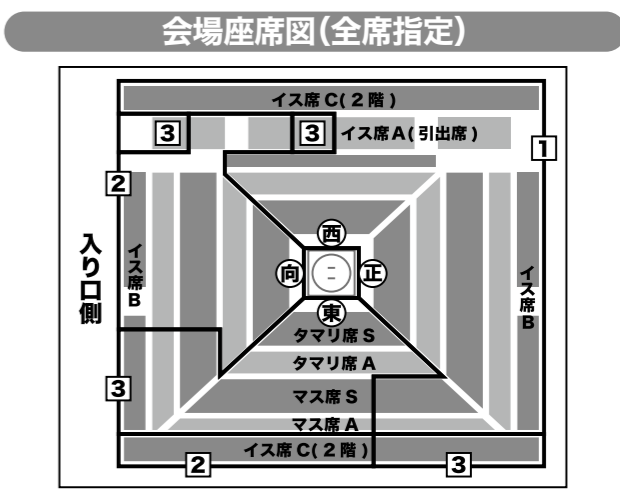
こちらのサイトでは、平成22年国勢調査を応援する4人(福澤朗さん、小林麻耶さん、高見侑里さん、パトリック・ハーランさん)が国勢調査をわかりやすく紹介しています。ぜひご覧ください。

HP <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/special/index.htm>

平成二十二年秋巡業 10月29日(金)庄原市総合体育館で開催 がんばろう庄原 大相撲庄原さとやま場所

入場料

1階	●タマリS席……[1名分] 13,000円
	●タマリA席……[1名分] 11,000円
	●マ スS席……[4名分] 40,000円 ※1名 10,000円×4名分
	●マ スA席……[4名分] 32,000円 ※1名 8,000円×4名分
	●マ スB席……[1名分] 10,000円
	●イ スA席……[1名分] 10,000円
2階	●イ スB席……[1名分] 6,000円
	●イ スC席……[1名分] 4,000円



入場券販売所
入場券は9月1日(金)から発売しています。
※販売は土日祝日を除く、平日の午前9時から、午後5時まで。

入場券は全席指定です。購入できる座席が各販売所で異なりますのであらかじめご了承ください。
(上記座席表の区画ごとに次の販売所に割り振っています。)

- 1 庄原商工会議所 ☎0824-72-2121
- 2 東城商工会 ☎08477-2-0525
- 3 備北商工会 ☎0824-82-2904

相撲のぼりスポンサー募集中

大相撲当日、会場周辺に設置する「相撲のぼり」のスポンサーを募集します。作成したのぼりは、大相撲終了後持ち帰りできます。

サイズ: 5m40cm×90cm
内容: カ士または相撲部屋名およびスポンサー名
金額: 5万円/1本
特典: スポンサーはタマリ席Sを4席まで優先的に購入できます。

相撲弁当セット
※入場券と一緒に引換券をご購入ください。

3,000円 セット内容 お弁当・お茶 相撲土産

主催: 大相撲庄原さとやま場所実行委員会 事務局(☎0824-73-1179)・商工観光課



笑顔で語るハン・ジミンさん

庄原市で韓国ドラマロケ!?

韓国女優ハン・ジミンさんが庄原市を訪れ抱負を語る

韓国の人気女優ハン・ジミンさんとドラマ制作スタッフなど6人が6月30日、韓国ドラマのロケ地候補の一つに挙がっている庄原市を訪れました。

出演が予定されているハン・ジミンさんは「ドラマを撮影するというだけでもなく、日本と韓国の掛け橋になりたい。この作品を庄原のみなさんと一緒に作り上げ、交流も深めたい」と笑顔で抱負を語りました。

ロケ地の最終決定は8月下旬ごろになり、正式に決定した場合は、庄原市内での撮影が10月ごろ、韓国での放映は来年1月ごろから予定しているとのこと。

市政懇談会が変ります

平成22年度

市政懇談会

自治振興区の代表者を対象に実施します。

市は、市の政策や事業に対するご意見やご要望を市民の皆さんからお聴きし、幅広く市政に反映するため、市内各地区で「市政懇談会」を実施しています。市民の皆さんと行政が情報を共有し行動をおこす「協働のまちづくり」を進めるための情報交換の場と考えています。

合併から5年が経過し、自治振興区による住民自治活動が活発化し、地域の活性化につながってきていることから、本年度は、各自治振興区が主体的に取り組みされている地域課題の解決や地域づくり事業をより具体的に効果的に取り組めるよう、自治振興区の代表者などと意見交換する新たな形で市政懇談会を実施します。

開催時期

10月中を予定しています

開催会場

市内7会場(旧市町単位)

出席者

自治振興区の代表など

※開催日程などは、各自治振興区に直接ご案内します。

※なお、道路の改良・維持・修繕などの要望や陳情は、直接事業担当課で受け取りますので、ご相談ください。

市長と直接対話できる ふれあい市長室

市はこのほかにも、市民の皆さんのご意見を市政に反映するために、次の事業を行っていますので、ぜひご利用ください。

市の職員が直接出向く 出前トーク

毎月1回、本庁または支所で開催しています。(開催日、会場などは広報紙のお知らせ欄、ホームページに掲載しています。申し込みは不要で、どの会場へもお越しいただけます。)

問い合わせ

企画課広報統計係
☎0824731159
FAX0824723322
電子メール
kikaku-toukei@city.shobara.
hiroshima.jp

庄原市職員を募集します

■ 申込手続

① 試験案内・申込書の配布場所

総務課人事秘書係、各支所地域振興室
② インターネットの利用
市ホームページ
(<http://www.city.shobara.hiroshima.jp>)に掲載中の試験案内からA4版用紙に印刷してください。

③ 郵送による請求

庄原市総務課人事秘書係(〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号)あてに返信用封筒を同封してご請求ください。
◎ 総務課人事秘書係あての封筒の表には「試験資料請求」と朱書きしてください。

◎ 返信用封筒(角形2号/縦33.2cm×横24cm)にあて先を明記し、120円切手を貼ってください。

② 提出書類
申込書に必要事項を記入し、添付書類と併せて総務課人事秘書係へ提出してください。
③ 申込締切

9月17日(金)
※郵送の場合は9月17日消印有効

■ 試験の方法

試験は第1次試験および第2次試験とし、第2次試験は第1次試験の合格者に対して行います。
【第1次試験】…全職種
試験日/10月17日(日)
8時10分受付開始

試験会場/JA庄原本所
(庄原市西本町二丁目14番1号)
試験科目/教養試験、事務適性検査、作文試験、専門試験(技術職(土木)のみ)
【第2次試験】…全職種
試験日、会場、試験内容は、第1次試験合格通知によりお知らせします。

■ 採用予定年月日

平成23年4月1日採用予定

■ 問い合わせ先

総務課人事秘書係
☎0824731125
※詳しくは、「平成22年度庄原市職員採用試験案内」をご覧ください。



結愛 母のお腹の中でへその緒で結ばれていた子どもが、世の中でもこのファイルで色々な人や機関と結ばれて、幸せで安心な暮らしをして欲しい… いつも子どものことを愛し、幸せを願う母の思い…

「心をつなぐサポートファイルひろしま結愛」の配布を開始します

サポートファイルとは

主に知的障害や発達障害のある方について、健康状態や生活状況・特性・支援内容などを、乳幼児期から成人期まで継続して記録し、整理するものです。このファイルを病院や学校などで提示することにより、同じ説明を繰り返す必要がなくなり、保護者の負担が軽減されます。

また、乳幼児期からの継続した記録により、一貫した支援が受けやすくなります。

市は10月1日から、障害のある方や支援が必要な方が、一貫したよりよい支援を受けることができるよう「心をつなぐサポートファイルひろしま結愛(yui)」を配布します。

「結愛」という名称には、このファイルにより障害をもつ我が子が色々な人や機関と結ばれ、幸せに安心して暮らしてほしいという保護者の思いが込められています。

● 利用対象者

主に、知的障害や発達障害のある方とその保護者
※その他の障害のある方、支援が必要な方とその保護者も利用可能です。

● 配布場所

社会福祉課、保健医療課、女性児童課、教育委員会、各支所担当室
※職員に申し出てください。

問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係
☎0824731210
または、各支所福祉担当係

● 採用職種、採用予定人員および応募資格

職種	採用予定人員	応募資格
一般事務職	若干名	昭和55年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた人
技術職(土木)	若干名	
技術職(建築)	若干名	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、申込時に1級または2級建築士の資格を有する人
保健師	若干名	昭和55年4月2日以降に生まれた人で、保健師の資格を有する人または平成23年3月31日までにこの資格を取得する見込みの人

※1受験者につき1職種しか受験できません。

※保健師は資格を有する人または資格を取得する見込みの人でないと応募できません。もしその資格を、上記表に記載する日までに取得することができない場合は、正式採用される資格を失います。

教えて！認知症予防

～誰もが安心して暮らせるまちづくりを～



総領支所市民生活室
保健師
もた やま み ど り
本山 美土里

認知症とは？

「認知症」は、誰にでも起こり得る脳の病気で、85歳以上では4人に1人は症状が現れるといわれています。認知症は単なる物忘れとは違い、日常生活に支障をきたします。気になることは、かかりつけ医に相談するなど、早い段階での受診が大切です。

認知症の原因となっている病気は？

●アルツハイマー型認知症(全体の5〜6割)
●脳血管性認知症(全体の約2割)
この二つの疾患を予防することが認知症の予防につながるということがわかってきました。

- 予防のための5つのポイント
- 生活習慣の予防(食事・ストレス)
- 適度な運動をする
- 頭を働かせる習慣をもつ
- 人との付き合いを大切にすること
- 役割のある生活

予防の知恵

8パターン

- 1 屋外を散歩しよう
外を歩くことは脳にも刺激を与えます。
- 2 料理番組のメモを取ろう
テレビの料理番組も脳に刺激を与えます。レシピを書き取ると、目や耳に神経を集中させる訓練になります。
- 3 暗算しながら買い物しよう
脳の老化が進むと計算力が衰えます。ちょっとした買い物でも、暗算をしながら買い物をするとうれいでしょう。
- 4 新聞記事を書き写そう
文章を読む・文字を書くという作業はとても効果的な脳のトレーニングです。
- 5 お客様を自宅に招待しよう
お客様を招待することは、脳に程よい緊張感と刺激を与えます。

- 6 利き腕と違う手を使う
認知症の早期に現れる症状として、認知機能の低下があります。今日は右、明日は左、と決めて意識的に体を使う・利き腕と違う手で受話器を取る・体を洗うなどして脳に刺激を与えてみてください。全体のバランスが良くなります。
- 7 早寝早起きをしよう
記憶が整理されるのは睡眠中です。就寝・起床時間を決めて質のよい睡眠をきちんととることが大切です。一日のリズムを整えるためにも早寝早起きの習慣をつけましょう。
- 8 よく噛んで食べよう
歯からの刺激は直接脳に伝わると考えられています。適度な堅さの食べ物を意識して食べるようにしたり、軟らかいものでもよく噛んで食べる習慣をつけると良いでしょう。

認知症の人の気持ちは？

認知症の方は、本人が感じ取った世界で誇りをもち懸命に生活を送っています。出来事自体は忘れても、不快なことや辛いこと、嬉しかったことや心地よかったことなど、情緒・感情に絡んだ記憶はよく覚えています。つまりどんなに認知症が進んでも、心は豊かに生きています。自分自身が情けないと思ったり、自分が崩れていくような不安や大きなストレスを感じていたりします。また介護されるご家族も同じ気持ちで過ごされています。

認知症を予防することはもちろん、認知症を正しく理解し、かけがえない人として、その人の尊厳を大切にすることが必要です。認知症の人や家族に対して温かく接し認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しましょう。

相談窓口

本庁／高齢者福祉課・保健医療課
各支所／地域包括支援センター
介護予防事業、認知症サポーター養成講座を実施しています。お気軽にご相談下さい。

平成22年度の新規助成対象研究課題を決定！

県立広島大学研究開発助成事業

企画課企画調整係 ☎0824-73-1128

地域活性化に向け新たに3件を採択

市は平成17年度から、県立広島大学の研究者が所有する知的資源と地域資源を活用し、研究成果を商品化・事業化に結び付け、地域活性化を図る研究に対して助成する「県立広島大学研究開発助成事業」を実施しています。

本年度は、新規助成対象研究課題として、次の3件の課題を採択しました。

今後は、研究担当者やしょうばら産学官連携推進機構と連携しながら、研究の成果を地域活性化や新産業創出につなげていく取り組みを進めます。

平成22年度助成対象研究課題

研究課題の内容	研究者
協同組合庄原ショッピングセンター「ジョイフルnagae」を中心とした旧商圏の再活性化対策	堀田 学 准教授
ジョイフルの賑わいを取り戻し、小売店舗の集積施設としての商的機能だけでなく、地域のコミュニケーション・くつろぎの場も提供できる「アメニティーの場」としての再活性化を目指す。	
庄原特産エゴマを使った機能性食品づくり—商品開発と地域振興—	武藤 徳男 教授
庄原市内で栽培されるエゴマの種子や葉を使って機能性の評価を行い、その機能性を活かした食品の試作品および新商品の開発を目指す。	
備北地域由来微生物の単離とその利用—all made in BIHOKUに向けて—	有馬 寿英 助教授
備北地域に咲く四季折々の花に在る有用微生物(乳酸菌や酵母など)の培養・単離(=取り出すこと)・スクリーニング(選別)を行う。培養の際に、廃棄物となっているポリフェノールを含む庄原産のりんごジュースの搾りカスを使うことで、高付加価値化を目指した植物性原料からなる飲料などの商品化の提案を行う。	

安心・安全な毎日のために

みんなで撃退！ 振り込め詐欺！

振り込め詐欺は、同一手口の犯行が短期間に集中するという特徴があります。被害を防止するには、即座に発生を把握することがとても重要です。次のような振り込め詐欺だと思われる内容の文言があれば、不審かどうかにかかわらず、迷わず、即座に110番通報をお願いします。

息子や孫を名乗り

● 犯人を逮捕したら個人情報が出ていた

● あなたの口座からお金が引き出されている

風邪で声が変わった 携帯電話の番号が変わった

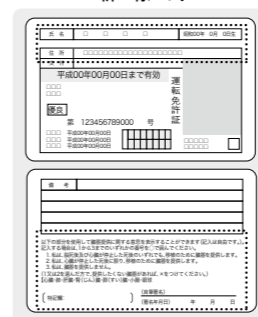
料金の取りすぎなどの内容で

● 還付するためにATMへ行ってきた

運転免許証の様式が変更されます

- 主な変更内容
- ① 本籍欄の削除
- ② 臓器提供の意思表示欄の設置

新様式



以下の部分を使用して臓器提供に関する意思を表示することができます(記入は自由です)。記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

1. 私は、脳死及び心臓が停止した状態のいずれでも、移植のために臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した状態に限り、移植のために臓器を提供します。
3. 私は、臓器を提供しません。

(1又は2を囲んだうえで、提供したい臓器があれば、×をつけてください)
(臓器: 肝臓・腎臓・心臓・肺・脾臓・小腸・膵臓)

（任意欄）
（署名）
（署名年月日） 年 月 日

変更となる運転免許証のイメージ

● 新しい様式の交付時期
広島県は、今年の秋以降に更新・再交付・新規取得などの際に、順次交付していく予定です。

● その他
◎ 様式改正前の運転免許証は、施行後

も当分の間有効となる経過措置が設けられます。

◎ 臓器提供の意思表示欄への記入は任意です。

◎ 今までの意思表示カードやシールは引き続き有効です。



滝口市長から認定証を受け取る名越さんと上田さん

平成22年度庄原市成人式が8月15日、庄原市民会館で開催されました。今年の新成人は、平成22年4月2日から平成23年4月1日まで生まれた市内在住者および庄原市出身者で、290人が出席しました。はじめに、滝口季彦市長が「何事にも果敢に挑戦する勇氣と、感受性豊かな心を原動力に、自身の播るぎない信念と決意で、自分の人生を耕し切り開いてください」と新成人を激励しました。新成人を代表して、栗久直樹さん(新庄町)が「今日の日を迎えることができたのも、家族や友人、地域の方々の支えがあったからこそ。今日のこの感激をこれからの人生に活かし、名実ともに成人になります」と決意を述べました。記念行事では、庄原市ゆかりのシンガーソングライタージャンクフジヤマさん(本名/藤木直史さん)が「自分の夢にチャレンジして」とエールを送り、ミニライブで会場を盛り上げ、式に華を添えました。また、配布されたしおりの表紙は、庄原市出身のグラフィックデザイナーナトー坂井智明さんがこの日のため

生涯学習課

ふるさとで誓う新たな決意 平成22年度庄原市成人式

にデザイン。しおりには中学3年生当時の担任の先生からメッセージが添えられており、新成人たちは自分の担任だった先生のメッセージを見つけては懐かしそうに読み返していました。成人式終了後には、実行委員会主催で祝賀パーティーが催され、それぞれの近況を話しながら、懐かしい友人との再会を楽しみました。



新成人の決意を述べる栗久さん



祝賀パーティーを楽しむ新成人

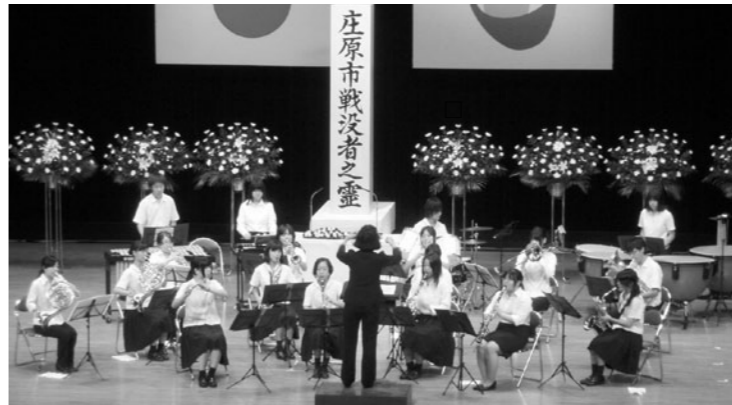
会課 福祉課

恒久平和を次世代に継承 戦没者追悼式・平和祈念式典

戦没者に哀悼の意を表し、恒久平和を祈念する「庄原市戦没者追悼式」並びに平和祈念式典を8月24日、庄原市民会館で開催しました。遺族をはじめ小中学生など約600人が参列し、本市出身の戦没者2925人のめい福と平和を祈りました。式典で滝口季彦市長は「戦没者の方々が命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み、次世代にしっかりと継承するとともに、恒久平和の実現とふるさと庄



平和を祈り歌う東小学校児童



庄原実業高校吹奏楽部による演奏

林業課 農振

将来の農業経営者として期待 庄原市農業後継者育成事業奨励金認定証交付式

庄原市農業後継者育成事業奨励金認定証交付式を7月27日に行ないました。7月12日の審査会を経て採択決定した、名越桂介さん、上田 誠さん(ともに東城町)に、滝口季彦市長から認定証が交付されました。二人は、広島県立農業技術大学校卒業後、東城地域に就農し、地域の活性化にも貢献したいと抱負を語りました。本事業は、市内で新たに農業の専業経営を目指す、市内の農家・農業生産法人・広島県立農業技術大学校で1年以上研修を行った後、1年内に市内で農業専業経営を開始する方(50歳以下)に対して、研修期間中2年間を上限とし月額10万円を奨励金として交付します。

本市は農業を基幹産業と位置づけていますが、農業者の高齢化・後継者不足などの課題を抱えています。今後も引き続き同事業の募集を行い、持続的な農業振興、地域の担い手となる農業後継者の育成と確保に向けて取り組みを進めていきます。

高齢者福祉課

広がる認知症サポーターの輪 オレンジリングはサポーターの証

平成17年から全国各地で取り組まれている「認知症サポーター養成講座」は、市内でこれまでに約3800人が受講しています。昨年からは、小・中学校、金融機関などでも取り組まれるようになり、認知症に対する正しい理解とサポーターの輪が広がっています。養成講座の受講者にはサポーターの証としてオレンジリングが配られ、手首に付けてもらっています。また金融機関では「認知症サポーターがいます」と書かれたステッカーを店舗入り口に貼り、サポーター宣言を行っています。



認知症の説明を受ける東城中の生徒



コイとカジカを計測する参加者

城所 東支

帝釈の自然を学ぶ 第56回帝釈理科講習会を開催

第56回帝釈理科講習会を8月2日と3日、帝釈自治振興センターで開催しました。生物学などの自然科学研究の場としてふさわしい国定公園帝釈峡を活用し、理科教育、生涯学習の推進と自然科学の研究をより深める

ことを目的として、昭和24年から毎年開催しています。今年も、県内の教職員やこの講習に関心のある方83人が参加。初日は、コイなどの淡水魚に関する講義を行ったあと、本物の淡水魚を使って、ヒレなどの魚の外形を直接計測する実習を行いました。間近で観る魚に、参加者たちは興味津々の様子でした。2日目は「植物画―ボタニカルアートとは何か」と題し、野外で採取した野草を使って植物精密画を描く実習などを行いました。参加者は「図を描くことで植物の構造を勉強することができた」と話していました。身近な帝釈で自然を学べる機会として、今後もこの講習会を継続していきます。



REPORT ③

わんぱく消防隊出動!! 東城町内の小学生などが消防体験



「わんぱく消防体験」が8月1日、庄原市消防団東城方面隊の夏期訓練にあわせて実施されました。



▲消防団員と放水体験

東城消防署の消防士や消防団員の指導のもと、消防車による放水や消火器による消火など、小学生やその保護者など75人が体験しました。

また、住宅用火災警報器の実演もあり、警報器の鳴り方や火災時の対処方法の説明に耳を傾けました。参加した子どもたちは「水の勢いがすごくなかなか的に当らなかった。消防士さんはすごい」と興奮気味に話していました。

REPORT ④

なつかしの唱歌で気持ちをひとつに みんなで歌うカナリヤの会

「カナリヤの会」(上田幸治代表)が口和郷土資料館で月に一度、ギターやピアノの伴奏に乗せてなつかしい唱歌や歌謡曲を歌っています。

この会は懐かしい歌を楽しく歌うことを目的に昨年6月に発足。口和地域のメンバーを中心に77人で活動しています。今回で10回目となった7月15日には40人が参加し、メンバー1人のアコーディオン演奏で「川の流れるように」など8曲を合唱。懐かしい曲にその頃の思い出を重ねながらメロディーを口ずさんでいました。



▲いつもにぎやかなカナリヤの会メンバー

REPORT ⑤

もぎたての甘さとみずみずしさを実感 西城小・美古登小トウモロコシ収穫体験

西城小学校と美古登小学校の5・6年生の児童42人が8月10日、西城町油木の畑でトウモロコシの収穫体験をしました。

子どもたちに自然の中で豊かな体験を通し「食」を考えてもらいたいと前油木営農組合が企画したもので、今年5月に児童が自分たちで種をまき、約150センチの高さにまで育った茎から、大きく実ったトウモロコシを収穫しました。児童たちは、もぎたてのトウモロコシを生のまままるかじりさせてもらうと、その果物のような甘さに驚いていました。

その後、油木小学校体育館に移動し、同営農組合員から、トウモロコシの種まきから施肥や消毒、イノシシなどからの被害を防ぐ対策など収穫を迎えるまでの作業行程やその大変さを聞いたあと、炭火焼にされたトウモロコシや手づくりおにぎりを味わいました。

前油木営農組合の高原芳典さんは「大切に育てた食べ物にありがたくいただくようにしてほしい」と話していました。



▲自分の背丈ほどに育ったトウモロコシを収穫する児童

完成待ち遠しい! 高速道路 尾道松江線現場見学会

平成24年度の開通を目指し、急ピッチで工事が進む尾道松江線の工事現場説明会が8月3日、高野インターチェンジ付近で開催されました。

これは、上高・下高公民館が一昨年に続き、国土交通省三次河川国道事務所の協力で実施。地元や広島市などから50人が参加しました。

工事現場を訪れた参加者は、現場の石を種類ごとに



▲記念に石をもらう参加者



REPORT ①

▲地上31mの上空を見上げる参加者

叩いて音や硬さを比べたり、完成図を頭に思い浮かべながら現場を見渡したりしました。次の見学先、下門田橋(仮称)の工事現場では、工事用エレベータで地上31mに上り「やじろべえ工法」で橋が繋がっていく様子を見学。「こんな経験は2度とできない」と参加者たちは喜び、完成を待ちわびていました。

REPORT ②

ゆったり散策夏山の自然とふれあう 第22回吾妻山グリーンラリー

8月8日に吾妻山グリーンラリーが開催され、総勢41人が参加しました。

吾妻山グリーンラリーは、吾妻山の大自然の中を、木々や草の名前などを調べながらハイキングし、森林浴、体力づくりとあわせて、自然とのふれあいをより深めてもらうことを目的として、毎年8月8日(はっばの日)に行われています。まず、比和文化会館・博物館で草木の学習をしたあと吾妻山へ移動し、休暇村吾妻山ロッ



▲みんなゴールできました



▲親子で散策中

ジを出発。2歳から60歳までの親子連れチームや小学生チームなどが、マイナスイオンを浴びながらゆったりと時間をかけて約2kmのコースを散策。15のチェックポイントがあり、樹木検索表などで樹木や草花の種類を一つ一つ調べながらゴールを目指しました。

参加者は「いろんな植物の名前を覚えることができ良かった」「山は涼しくて気持ち良かった。来年も参加したい」と話しました。

REPORT ⑨

ヒバゴンに託すふるさとからのメッセージ ヒバゴン出沒40周年記念切手発売

ヒバゴンのオリジナルフレーム切手シートが7月30日から発売され、好評を博しています。

昭和45年の夏、西城町比婆山麓に現れた謎の類人猿は、出沒地にちなんでヒバゴンと名付けられ全国的に報道されてから今年で40年。その表情は、驚きや恐れの対象からユーモラスで愛くるしいものへと次第に変化し、多くの産物やまち中の看板、映画にも登場するなど、地域の人から親しまれています。

西城円卓会議では、出沒40周年の今年、地元の団体などと連携し、ヒバゴンを題材にしたアイデアを形にしています。この切手シートは、ヒバゴンを切手にしたいという美古登郵便局の竹内隆文局長と西城円卓会議の思いが一致し、NPO法人ヒバゴンの知恵袋のデザイン協力によって実現したものです。

発売日に西城支所で贈呈式が行われ、西城支所長と



▲竹内局長から手渡されるヒバゴン切手 ▲80円切手10枚の切手シート
NPO法人ヒバゴンの知恵袋前田理事長に、切手シートが手渡されました。

竹内局長は「西城らしさを凝縮した切手ができた。西城からのメッセージを切手に託して全国に届け、町を元気にしたい」と話していました。



▲夜市の雰囲気を楽しむ

会場の東城まちなか交流施設「えびす」には、金魚すくいやヨーヨー釣り、射的や似顔絵コーナーをはじめ、焼き鳥や広島牛の鉄板焼きなど、楽しくて美味しい屋台が赤ちょうちんと共に並びました。また、ステージ

四半世紀ぶりにぎわい えびすで土曜夜市を開催

REPORT 10

東城の夏の風物詩だった土曜夜市が四半世紀ぶりに復活し、7月31日に開催されました。

では音楽に合わせ踊りながら壁画を完成させるライブペイントや、ギターや尺八などの演奏も行われ、県内外から約800人の来客でにぎわいました。

夜市は、8月7日・14日も行われ、特設ビアガーデンやソーメン流し、パントマイムショーやマジックショーなど、週替りで様々なイベントが行われました。

夜市を主催した田原守人実行委員長は「地域の方が夜市で出会い、話し、交流を深めることで、地域のにぎわいを復活させたいと企画した。みんなの楽しそうな表情や笑顔が嬉しかった。来年もぜひ開催したい」と思いを語りました。

REPORT 11

豪雨災害からの復興を祈念して シティホールライブin祈夜



▲祈りの音色が市民ホールに響き渡る

「シティホールライブin祈夜」が8月6日、市役所で開催されました。

このライブは、市役所を親しみのある場所にしたいと始まったイベントで、今回は庄原豪雨災害の復興を祈念したチャリティーライブとして開催。プロの演奏家や市民、学生グループなど7組が楽曲を披露し、集まった150人の聴衆を魅了しました。

会場では災害復興募金箱が設置され、豪雨災害によって被災した家屋や豪雨のあった日の様子を撮影した写真パネルが展示されました。

ライブ実行委員の山口雪子さんは「自分たちが好きな音楽を通して、何かできないかと企画した。これからも平和や命をテーマにしたライブを続けたい」と話していました。

大自然の中で健康増進を図る かさべるで杯親善ゲートボール大会

REPORT ⑥



▲大自然を背に一打の集中力も高まる

第15回記念庄原市比和かさべるで杯親善ゲートボール大会が7月18日、比和総合運動公園で開催されました。

この大会は、自然豊かな運動公園に集い、お互いの親睦を深めながら、参加者の体力づくりや健康増進を図ることを目的として開催されました。県外者を含む44チーム約270人が参加し熱戦が繰り広げられました。毎年参加を楽しみにしている常連チームも多く、参加者は1つ1つのプレーに一喜一憂しながら、1日を楽しんでいました。

また会場では、地元の特産品・加工品などの販売も行われ、参加者との交流を深めました。

REPORT ⑦

プロの演奏家が指南 クラシックセミナーが開催



▲プロの演奏を手本に学ぶ受講生

ひろしま夏の芸術祭クラシックセミナーが7月23日、庄原市民会館で開催されました。

この事業は、プロの音楽家を講師に迎え、管弦打楽器の公開指導を行うもので、県内の9会場で行われました。庄原会場では、音楽を始めたばかりの方を対象に開催し、庄原中学校・西城中学校・東城中学校の生徒など約90人が参加しました。

対象楽器は、トランペット、トロンボーン、サクソフーン、フルート、クラリネット、パーカッション、ホルンの7楽器で、吹くときの姿勢の大切さや動作の基本などを各楽器の専門講師が丁寧に指導。受講生たちは「また来年も来たい」と喜び、声を弾ませていました。

一緒に作って一緒に食べて楽しく食育 夏休み子ども料理教室が開催

REPORT ⑧

子ども達が料理の体験を通して、楽しく「食」について学ぶ「夏休み子ども料理教室」が8月9日、総領健康福祉センターで開催されました。



▲おいしく出来上がりますように

教室には総領小学校の児童37人が参加し、アメリカの郷土料理チリコンカン、夏野菜サラダ、フルーツポンチの3品目の調理にチャレンジ。にぎやかな雰囲気の中、調理や作業の担当を決めながら、それぞれの役割をこなしていました。

タマネギをみじん切りにするときには、みんな涙目になりながらも乗り切り、料理を完成させました。児童たちは自分たちの手料理に「おいしかった」とおかわりに手を伸ばしていました。

生活相談

身体障害者補装具判定会

「肢体」 9月16日(木)
受付 13時～14時
広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4-6-1
※1週間前までに社会福祉
課障害者福祉係へ予約を。
☎0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が
相談に応じます。
●庄原地域
9月21日(火)・10月5日(火)
13時30分～16時30分
庄原市ふれあいセンター

定期巡回児童相談

●西城地域
10月14日(木)
13時30分～16時30分
西城健康福祉総合センター
(しあわせ館)
●東城地域
10月7日(木)
13時30分～15時30分
東城ふれあいセンター
●口和地域
10月14日(木)
13時30分～16時30分
西城健康福祉総合センター
(しあわせ館)

●庄原地域
9月16日(木)・10月21日(木)
10時～15時
庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに女性児童
課子育て支援係へ予約を。
☎0824-73-0051
●東城地域
9月24日(金)
10時～15時

健康相談

●心臓健康相談
ストレス、うつ病などの心
の健康に不安のある方やそ
の家族からの相談に応じます。
9月21日(火)・10月19日(火)
13時～14時30分

母子・寡婦家庭の皆さんの
一口総合相談会

就職問題や職場の人間関
係、養育費や児童扶養手当な
ど、母子家庭の皆さんを取り
巻く困りごとについて、一日
総合相談会を開催します。
※相談は予約制です。

土地と登記などに
関する相談会

農地の転用や登記、その他
土地などに関するさまざま
な問題について、法務局など
の専門家が相談に応じます。
10月4日(月)
受付 13時～16時
市役所本庁舎3階防災対策室
総領支所2階会議室
☎0824-72-5654

四隅突出型墳丘墓の
起源を探索シンポジウム

弥生時代の謎のお墓「四
隅突出型墳丘墓」の調査結
果を公開するシンポジウム
を開催します。
9月26日(日)
10時～15時30分
※シンポジウム終了後、発
掘調査現地公開を行います。
●庄原市ふれあいセンター
定員 200人
申込方法
住所・氏名・連絡先を明記し、
はがき・封書またはFAXで
申し込んでください。(団体
の場合は、代表者の連絡先と
参加者全員を明記)
申込締切
9月22日(水)(先着順)
申込先
〒727-8501
庄原市中本町一丁目10-1
庄原市教育委員会生涯学習
課文化振興係 あて
☎0824-73-1189
FAX 0824-73-1254

催し

時悠館公開講座
とき 9月11日(土)
14時～15時30分
ところ 時悠館
講師 竹広文明さん
(広島大学大学院准教授)
演題 「石器の材料はどこ
からきたのか ―帝釈峽か
ら出土するサヌカイトと黒
曜石をめぐって―」
問い合わせ 時悠館
☎08477-60161

口和モーモー祭

2年に1度開催される、口
和地域のシンボル「牛」をテ
ーマにした一大イベントです。
会場内では、和牛の炭火
焼やもも肉の丸焼き、地元
特産品などを販売。また、地
元芸能などの発表や歌謡パ
ラエティなど楽しいイベン
トも用意しています。
また、祭の一番人気「広島
県産黒毛和牛の炭火焼コー
ナー」の前売り券(コース220
g/2千500円)を販売
しておりますので、お早め
にお買い求めください。
10月9日(土)10時～
10日(日)9時～
ところ 口和総合運動公園
内容
手づくりモーモー大行進、
牛の大声コンテスト、広島

比和やまびこ祭・
庄原「みよりの祭典21」

第18回となる比和やまび
こ祭と、庄原「みよりの祭典
21」を合同で開催します。紅
葉するひろしま百山「福田頭」
を背景に、地元中学生による
広島県無形民俗文化財「比和
牛供養田植」の披露や歌謡シ
ョーが会場を盛り上げ、広島
牛もも肉の丸焼きなど、庄原
の秋の味覚が味わえます。
10月23日(土)12時～
24日(日)9時～
内容 さくらまや歌謡ショ
ー(23日)、水田竜子歌謡シ
ョー(24日)など
ところ 比和総合運動公園
問い合わせ
比和やまびこ祭実行委員会
(比和支所地域振興室内)
☎0824-85-3000
庄原みよりの祭典実行委員会

無料法律相談室

とき 9月26日(日)
10時～12時
ところ 庄原市保健センター
対象 母子家庭の母・寡婦
予約・問い合わせ
広島県母子家庭等就業・自
立支援センター
☎082-249-7149

庄原市消費生活センター

契約のトラブルや多重債
務など消費生活に関する相
談をお受けし、解決のため
のお手伝いをしています。
お気軽にご相談ください。
とき 毎週月～金曜日
(祝日、年末年始除く)
9時～16時(12時～13時休み)
ところ
市役所1階市民生活課内
☎0824-73-1228

土地と登記などに
関する相談会

農地の転用や登記、その他
土地などに関するさまざま
な問題について、法務局など
の専門家が相談に応じます。
10月4日(月)
受付 13時～16時
市役所本庁舎3階防災対策室
総領支所2階会議室
☎0824-72-5654

母子・寡婦家庭の皆さんの
一口総合相談会

就職問題や職場の人間関
係、養育費や児童扶養手当な
ど、母子家庭の皆さんを取り
巻く困りごとについて、一日
総合相談会を開催します。
※相談は予約制です。

土地と登記などに
関する相談会

農地の転用や登記、その他
土地などに関するさまざま
な問題について、法務局など
の専門家が相談に応じます。
10月4日(月)
受付 13時～16時
市役所本庁舎3階防災対策室
総領支所2階会議室
☎0824-72-5654

催し

時悠館公開講座
とき 9月11日(土)
14時～15時30分
ところ 時悠館
講師 竹広文明さん
(広島大学大学院准教授)
演題 「石器の材料はどこ
からきたのか ―帝釈峽か
ら出土するサヌカイトと黒
曜石をめぐって―」
問い合わせ 時悠館
☎08477-60161

口和モーモー祭

2年に1度開催される、口
和地域のシンボル「牛」をテ
ーマにした一大イベントです。
会場内では、和牛の炭火
焼やもも肉の丸焼き、地元
特産品などを販売。また、地
元芸能などの発表や歌謡パ
ラエティなど楽しいイベン
トも用意しています。
また、祭の一番人気「広島
県産黒毛和牛の炭火焼コー
ナー」の前売り券(コース220
g/2千500円)を販売
しておりますので、お早め
にお買い求めください。
10月9日(土)10時～
10日(日)9時～
ところ 口和総合運動公園
内容
手づくりモーモー大行進、
牛の大声コンテスト、広島

比和やまびこ祭・
庄原「みよりの祭典21」

第18回となる比和やまび
こ祭と、庄原「みよりの祭典
21」を合同で開催します。紅
葉するひろしま百山「福田頭」
を背景に、地元中学生による
広島県無形民俗文化財「比和
牛供養田植」の披露や歌謡シ
ョーが会場を盛り上げ、広島
牛もも肉の丸焼きなど、庄原
の秋の味覚が味わえます。
10月23日(土)12時～
24日(日)9時～
内容 さくらまや歌謡ショ
ー(23日)、水田竜子歌謡シ
ョー(24日)など
ところ 比和総合運動公園
問い合わせ
比和やまびこ祭実行委員会
(比和支所地域振興室内)
☎0824-85-3000
庄原みよりの祭典実行委員会

第2回帝釈峽夏秋冬写真展

カルスト台地特有の変化
に富んだ溪谷美を写した作
品展。東城写真会・庄原写真
同好会の皆さんの秀作を展
示します。
9月9日(木)～10月3日(日)
問い合わせ 時悠館
☎08477-60161

第9回TAKO交流会

市内の各和太鼓団体が一
同に集結し、勇壮な和太鼓演
奏を行います。その他、ヒッ
プホップダンスグループ2

行政相談委員の定例相談所

歩行者の安全を守るため
道路補修をして欲しい、年
金の裁定額に納得がいかな
いなど、国の仕事などで困
ったときは行政相談委員が
相談に応じます。
●庄原地域
9月16日(木)
13時～16時
庄原市ふれあいセンター
●東城地域
9月16日(木)
13時30分～16時30分
東城ふれあいセンター
●口和地域
9月16日(木)
13時～16時
口和老人福祉センター
●比和地域
9月16日(木)
13時30分～15時30分
ところ 比和文化会館
問い合わせ
中国四国管区行政評価局行
政相談課

坂田明ジャズコンサートのご案内

2年前に開催し好評を得た、呉市出身のサクソ奏者「坂田明ジャズコンサート」を今年も開催いたします。今回は「坂田明トリオジャズライブ」と称して、ピアノに黒田京子さん・ベースに水谷浩章さんを招き、三人でコラボレーションしますので、ぜひお楽しみください。

特別ゲストとして、庄原中学校吹奏楽部の皆さんの演奏もあります。

とき 9月27日(月)18時30分～(開場18時)

ところ 庄原市民会館

入場料 大人 2,000円(当日券 2,300円)

高校生以下 無料

前売券発売所 庄原市民会館、ザ・ビッグ庄原店、ジョイフル、ゆめさくら、サングリーン(三次)

※チケットは電話で購入できます。詳しくは、庄原市民会館までお問い合わせください。

問い合わせ NPO法人 庄原市芸術文化センター(庄原市民会館)

☎0824-72-4242



桜花杯空手道大会

県内外のスポーツ少年団などで鍛錬を積んだ32団体360人が、組手・形競技で熱い戦いを繰り広げます。
とき 10月3日(日)
9時10分～
ところ 庄原市総合体育館

問い合わせ
生涯学習課スポーツ振興係
☎0824-73-1196

※当日は庄原市総合体育館
☎0824-72-8000へ。

第2回備北酔い処まつり開催

神楽や太鼓、鶴飼実演、酒蔵クイズなど楽しいイベントが盛りだくさんです。
フードコーナーでは、三次・庄原の新メニューが登場。また、酒蔵見学やフルーツ狩り食べ放題の周遊バスも予定しています。ぜひお越しください。

とき 9月19日(日)・20日(月・祝)11時～16時

ところ 広島三次ワイナリー
前売券 1千円(1千200円分)
チケット取扱所
庄原観光協会、庄原市観光協会連合会、広島三次ワイ

ナリー、三次市観光協会、備北観光ネットワーク協議会
※「旨いお酒」を味わっていただきたいので、あえて飲み放題にしていません。
※当日券はありませんので、お得な前売券をお買い求めください。
※期間中は無料シャトルバス(三次バスセンター→JR三次駅→会場)を運行します。飲酒運転は絶対にお止め下さい。
※観光パンフレット「備北のかがやきvol.3 秋冬編」で備北の秋冬情報を紹介しています。ぜひご覧ください。
問い合わせ
備北観光ネットワーク協議会
☎0824-44-3855
広島三次ワイナリー
☎0824-64-0200

平成22年度自治振興区活動報告会

災害の発生により延期してしました自治振興区活動報告会は、市内7地域を巡回するポスター展示に内容を変更し行います。巡回は10月から2月にかけて行う予定です。
問い合わせ 自治振興課
☎0824-73-1209

募 集

さとやまガーデニングコンテスト開催と作品募集

「しようばら花会議」は、日常生活で鉢植えやプランター、庭の花壇や畑など積極的にガーデニングに取り組んでいる人を応援し、その取り組みが広がることを目的に「さとやまガーデニングコンテスト」を開催します。ぜひ、自慢の作品をご応募ください。
とき 9月27日(月)～10月7日(木)
ところ 市役所市民ひろば
内容 植え込み技術、色合い、バランスなどを競います。
●コンテナガーデンの部
(自由な入れ物に寄せ植え)縦70センチ以内×横70センチ以内
※高さ制限なし
●ハンギングバスケットの部
(壁掛けタイプの入れ物に寄せ植え)縦70センチ以内×横70センチ以内×長さ100センチ以内
募集締切 9月21日(火)
※応募方法など詳しくは、しようばら花会議事務局へお問い合わせください。
問い合わせ しようばら花会議事務局

3B体操無料講習会

3B体操は、ボール・ベル・ベルトの3つの手具を使い、音楽に合わせて楽しく体を動かす健康体操です。無理せず自分に合った運動ができるのが特徴で、地域のふれあいづくりにも役立ちます。皆さんも一緒に体を動かしてみませんか?
とき 9月15日(水)
13時30分～15時
ところ 庄原市ふれあいセンター
問い合わせ 水上 忠
☎0824-72-2268

県営住宅入居者募集

庄原市内の県営住宅のうち、新たに空家となった住宅
受付期間 10月27日(水)～29日(金)
受付時間 8時30分～17時
受付方法 募集住宅、申込方法および申し込み資格などは、10月19日(火)から配布する申込のしおりおよび募集一覧をご覧ください。
受付機関 広島県ビルメンテナンス協同組合県営住宅管理グループ
三次市十日市中二丁目3-36
向田ビル1階
☎0824-62-6575
問い合わせ
県都市局住宅課住宅管理グループ
☎082-513-4171

リサイクル品(子ども服・育児用品など)の募集

10月24日開催の「こどもまつり」で、今年も子ども服のリサイクル広場を開催します。次のとおりリサイクル品を募集します。
募集品
・子ども服(50センチ～160センチ、汚れやほころびのないもの。)
・育児用品(おもちゃ不可)
・マクニティ用品
募集期間

県民の森イベント参加者募集

●中国山地の自然探訪
県民の森ホテルに宿泊して、比婆山を中心に近郊の山々を訪ねてみましょう。
◎黄葉のブナと秋の恵み
比婆山・井尻谷・吾妻山のブナの黄葉とキノコや木の実を観察します。
とき 10月15日(金)・16日(土)
参加費 1泊3食 1万5000円
日帰り 2千円
定員 25人

「世界一の夢提灯」展示終了

5月4日に完成した「世界一の夢提灯」の展示は、9月5日をもって終了しました。
465人の参加者、庄原市・三次市の小中学生の皆さんをはじめ、ご支援・ご参加いただきました皆さん、誠にありがとうございました。

7月豪雨により住宅に被害を受けた皆さまへ

●災害援護資金の貸付案内
災害からの生活の立て直しに必要な資金を貸し付けます。(所得制限があります。)
限度額 150万円～350万円
(被害の程度により限度額が異なります)
利率 年3%
申請期限 10月29日(金)
申請・問い合わせ先 社会福祉課障害者福祉係
☎0824-73-1210

その他

申し込み・お問い合わせ
ひろしま県民の森公園センター
☎0824-84-2011
※スケジュールなどの詳しい内容は、申込者に別途ご案内します。

広告 「この社会あなたの税がいきている」
—インターネットで申告・納税できる—
利用推進運動中
e-Tax (国税電子申告・納税システム) <http://www.e-tax.nta.go.jp>

めざします
よき経営者による 正しい納税で
企業の繁栄と社会への貢献

社団法人 庄原法人会

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)
HP: <http://www10.ocn.ne.jp/~shk/>

電波には免許を。
無線機には
技術マーク(㊟)を。

みんなが使う電波だから
守ろう! 電波のルール

■無線機の使用には免許が必要です。
■技術マークのついた無線機を使用しましょう。
■外国規格のトランスシーバーは国内で使用できません。

詳しくは、総務省 電波利用ホームページへ 電波利用

広島県北部地域職業訓練センター受講生募集

広島県北部地域職業訓練センターでは、各種講座の受講生を募集しています。

講座名	期間	時間	額(人)	受講料
初歩からのOffice マスターコース	10/4~12/13 月・木	18時30分~20時30分	20	会員17,000円(テキスト代別) 一般19,000円(テキスト代別)
コンピュータサービス技能 評価試験受験対策コース	10/8~11/9 火・金	18時30分~20時30分	20	会員10,000円(テキスト代別) 一般12,000円(テキスト代別)
製造スタッフ養成講座	10/2~23 土	9時~16時	20	会員25,000円(昼食費込) 一般28,000円(昼食費込)
手話講座	10/5~3/29 火	18時30分~20時30分	20	会員3,000円(月/テキスト代別) 一般3,000円(月/テキスト代別)
衛生管理者受験準備講座	10/6~8 水・木・金	9時~16時	20	会員20,000円(昼食費込、テキスト代別) 一般24,000円(昼食費込、テキスト代別)
商業英会話講座	10/7~3/31 木	18時30分~20時30分	20	会員5,000円(月/テキスト代別) 一般5,000円(月/テキスト代別)
建築配管技能士 1級・2級受験準備講座	10/9・16・23 土	9時~16時	20	会員24,000円(昼食費込、テキスト代別) 一般26,000円(昼食費込、テキスト代別)
ISO9001内部品質 監査員研修	10/21・22 木・金	9時~16時	20	会員17,000円(昼食費込) 一般20,000円(昼食費込)
接遇対応訓練 (一般のおよび応用マナー)	10/22 金	9時~16時	20	会員5,000円 一般6,000円
庭木の剪定 「秋季・松、ほか」	10/23~30 土・日	9時~16時	20	会員9,000円(器具代別) 一般11,000円(器具代別)

※時間は変更になる場合があります。 ※定員になり次第、受付を締め切りますのでご了承ください。

申込み・問い合わせ 職業訓練法人 広島北部地域職業能力開発協会
雇用・能力開発機構委託広島北部地域職業訓練センター
〒728-0023広島県三次市東酒屋町306-69
☎0824-62-8500(FAX兼)ホームページ: http://www.nhvtc.ac.jp

広島県立農業技術大学校学生募集

広島県立農業技術大学校では、平成23年4月入学の学生を募集します。

学科および定員	本科40人程度 園芸課程(野菜・花きコース、果樹コース) 畜産課程(肉用牛コース)																														
修業年限	2年																														
入学資格	将来農業に従事しようとする者および農業・農村の担い手を目指す者で、高卒または同等以上の学力のあるもの。																														
入学試験	<table border="0"> <tr> <td>①推薦入試</td> <td>願書受付</td> <td>10月1日(金)~15日(金)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>試験月日</td> <td>10月26日(火)</td> </tr> <tr> <td>②一般入試(前期)</td> <td>願書受付</td> <td>11月26日(金)~12月10日(金)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>試験月日</td> <td>12月21日(火)</td> </tr> <tr> <td>③一般入試(後期)</td> <td>願書受付</td> <td>2月18日(金)~3月4日(金)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>試験月日</td> <td>3月16日(水)</td> </tr> <tr> <td>④社会人特別入試(前期)</td> <td>願書受付</td> <td>9月1日(水)~30日(木)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>試験月日</td> <td>10月15日(金)</td> </tr> <tr> <td>⑤社会人特別入試(後期)</td> <td>願書受付</td> <td>1月4日(火)~2月4日(金)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>試験月日</td> <td>2月18日(金)</td> </tr> </table>	①推薦入試	願書受付	10月1日(金)~15日(金)		試験月日	10月26日(火)	②一般入試(前期)	願書受付	11月26日(金)~12月10日(金)		試験月日	12月21日(火)	③一般入試(後期)	願書受付	2月18日(金)~3月4日(金)		試験月日	3月16日(水)	④社会人特別入試(前期)	願書受付	9月1日(水)~30日(木)		試験月日	10月15日(金)	⑤社会人特別入試(後期)	願書受付	1月4日(火)~2月4日(金)		試験月日	2月18日(金)
①推薦入試	願書受付	10月1日(金)~15日(金)																													
	試験月日	10月26日(火)																													
②一般入試(前期)	願書受付	11月26日(金)~12月10日(金)																													
	試験月日	12月21日(火)																													
③一般入試(後期)	願書受付	2月18日(金)~3月4日(金)																													
	試験月日	3月16日(水)																													
④社会人特別入試(前期)	願書受付	9月1日(水)~30日(木)																													
	試験月日	10月15日(金)																													
⑤社会人特別入試(後期)	願書受付	1月4日(火)~2月4日(金)																													
	試験月日	2月18日(金)																													
問い合わせ先	広島県立農業技術大学校教務課 〒727-0003 庄原市是松町55-1 ☎0824-72-0094																														

「秋まつり」

~Autumn Flower Picnic~

9月11日(土)~10月17日(日)

《期間中は毎日開園!》

10月3日(日)・10日(日)は無料入園日です。
9月20日(祝)は65歳以上の方のみ入園料無料です。 ※駐車料金は別途必要

備北公園管理センター

☎0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

備北
丘陵公園
だより



花いっぱい!

公園の秋の主役「コスモス」。今年は昨年より20品種増やし、これまでで最多の100品種!をそろえ、国内でも最大級のコスモスのコレクションをお楽しみいただけます。人気の「チョコレートコスモス」をはじめ、ピンクの他にもさまざまな色や形のコスモスも咲いています。お気に入りの花に、きつと出会えることでしょう。

公園イベント
手軽に楽しめるイベント

をたくさん開催、人気の「神楽上演」は9月19日(日)~10月11日(月・祝)までの日・祝日の合計7日間開催いたします!ひばの里の「食体験教室」・「クラフト教室」も楽しみます。手押し鉄道の「人車」も登場します。10月10日には「たたら鉄づくり」体験を開催、伝統の製鉄技術を紹介します。
●10月24日(日)
「42・195」リレーマラソン大会
フルマラソンの距離をたすきでつないで走るユニークなマラソン大会です。参加受付中!
申込締切 10月12日(火)必着 ※有料です。
申込先 リレーマラソン協会西日本支部
☎0120-846-598

県民ウォークin庄原実行委員会
☎0824-75-0173
●10月2日(土)・3日(日)
庄原フードフェスティバル
●10月3日(日)
オープンングセレモニー、広島県特産品フェア、ステージイベントなど
●10月2日(土)~11月5日(金)
写真が語るさとやま写真展
●10月16日(土)・17日(日)
さとやま手づくりアートフェスタ
問い合わせ 交流サロンラッキー
☎0824-72-0075
●和太鼓と花火の響演
10月11日(月・祝)開催!
和太鼓の演奏と1千500発の打上げ花火を染しむ「和太鼓と花火の響演」。ちよつとプレミアムな秋の夜をお楽しみください。
チケット購入お問い合わせ グリーンウイングさとやま
☎0824-72-7211
さとやまオープンングイベントに関するお問い合わせ 庄原市観光キャンペーン実行委員会
☎0824-75-0173
※「秋まつり」期間中のイベント、花の開花情報については公園ホームページもしくはお電話にてお問い合わせください。

あっぱれ庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会・市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

全国大会

●7月25日・岩沼市総合体育館
●個人女子の部
準優勝 田邊 芳佳(東城高3年)
第三位 名越 光希(庄原実業高3年)

●8月4日・日本武道館
●武道練成大会(銃剣道)
●中学生女子の部
第三位 山崎 隆輝(小奴可小5年)
敢闘賞 立川 千裕(東城中1年)

●9月26日・28日・千葉県我孫子市
●足立未穂(庄原実業高3年)
※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

●9月26日(土)・28日(日)
●千葉県我孫子市
●足立未穂(庄原実業高3年)
※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

●9月26日(土)・28日(日)
●千葉県我孫子市
●足立未穂(庄原実業高3年)
※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

●9月26日(土)・28日(日)
●千葉県我孫子市
●足立未穂(庄原実業高3年)
※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

●9月26日(土)・28日(日)
●千葉県我孫子市
●足立未穂(庄原実業高3年)
※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

●9月26日(土)・28日(日)
●千葉県我孫子市
●足立未穂(庄原実業高3年)
※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

●9月26日(土)・28日(日)
●千葉県我孫子市
●足立未穂(庄原実業高3年)
※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

●9月26日(土)・28日(日)
●千葉県我孫子市
●足立未穂(庄原実業高3年)
※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

広告

7月の大雨により被害を受けられました皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

当金庫は、7月の大雨災害により被害を受けられた方々のご支援を行うため「災害復旧ローン」「災害生活支援ローン」の取扱いをしております。

【取扱期間】平成22年7月26日(月)から平成22年12月30日(木)まで
【お問い合わせ先】詳しくは最寄の営業店または業務部業務課(TEL:0824-72-1151)にお問い合わせ下さい。



いつでもどこでもハートフル
広島みどり信用金庫
http://www.shinkin.co.jp/midori/

広島県庄原市西本町3-1-8
☎(0824)72-1151(代)
FAX(0824)72-7616

人の動き
平成22年7月末日現在

●住民基本台帳登録人口
人口 40,831人(前年比-532人)
男 19,393人(前年比-234人)
女 21,438人(前年比-298人)
世帯数 16,072世帯(前年比-21世帯)

●外国人登録人口
人口 337人(前年比+12人)

**市税・水道料金・下水道使用料
納付は口座振替が便利です**

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
※残高確認も忘れないでください。

- 税務課収納係 ☎0824-73-1145
- 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
- 水道課庶務係 ☎0824-73-1197

献血のご案内
☎保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおり実施します。
皆様のご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
9月21日(火)	東城支所	10時~11時30分 12時30分~15時
9月22日(水)	東城支所	10時~11時30分 12時30分~15時
9月24日(金)	庄原赤十字病院	11時30分~15時

ふれあい市長室の日程
☎企画課広報統計係 ☎0824-73-1159

◎とき 10月9日(土) 9時~12時
◎ところ 西城支所
※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望・陳情は、事業担当課へお願いします。

広報日記

ここ数年、毎年のように最高気温の記録が塗り替えられていますが、今年の夏は特に異常な暑さを感じる日が続きました。自宅ではなるべくクーラーに頼らないようにと思っはいましたが、茹だるような暑さからリモコンについ手が伸びてしまいました。このような異常と思える気象現象が世界各地で起こっています。今回の災害をもたらしたゲリラ豪雨もその1つ。地球温暖化対策、温室効果ガスの削減が大きく叫ばれますが、その必要性を痛切に感じます。Ⓜ

犬・猫の引き取り
☎環境衛生課 ☎0824-72-1398

9月・10月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。
なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

庄原地域	毎月第1~第4火曜日 9月14日・21日・28日 10月5日・12日・19日・26日	11:00~11:10 東自治振興センター 11:25~11:35 市役所車庫 11:50~12:00 敷信自治振興センター
西城地域	毎月第1・第3木曜日 9月16日、10月7日・21日	9:00~ 9:10 西城支所前
東城地域	毎月第1・第3木曜日 9月16日、10月7日・21日	9:40~ 9:50 小奴可研修センター 10:20~10:30 東城文化会館
口和地域	毎月第4木曜日 9月24日※、10月28日	11:40~11:50 口和支所前駐車場
高野地域	毎月第4木曜日 9月24日※、10月28日	13:20~13:30 高野支所横
比和地域	毎月第4木曜日 9月24日※、10月28日	13:50~14:00 比和支所
総領地域	毎月第2水曜日 9月8日、10月13日	9:40~ 9:50 総領支所 (スクールバス駐車場)

※口和・高野・比和地区の9月23日(木)は、祭日のため翌日の24日(金)に変更しています。

男女共同参画コーナー 女性児童課 ☎0824-73-1243
進みたい道を進もう!

市内すべての中学校では、働くことの尊さや意義について考える機会を生徒に与えようと、市内の事業所などで職場体験学習を行っています。

保育所で体験中の男子生徒は「子どもが好きだから保育所を選んだ」と、子ども達と一緒にブロック遊びをしていました。昔は女性職員ばかりだった保育所にも、男性の保育士さんが増え、活躍しています。

次代を担う子どもたち一人一人が主体的に将来の進路や夢を選択し実現していくために、私達は良き理解者として、応援していきたいですね。

《保育所での職場体験のようす》



やさしい「お兄ちゃん先生」に子どもたちも大喜び

配偶者・パートナーからの
暴力(DV)で悩んでいませんか
~あなたは“ひとり”じゃない~

広島県西部子ども家庭センター 女性相談課
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所) ☎082-254-0391
広島県北部子ども家庭センター 相談援助課
(配偶者暴力相談支援センター) ☎0824-63-5181 (内線2313)
庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243

比和自然科学博物館 ☎0824-85-3005
開館 9時~17時(年末年始休館)

みなさん「ツノトンボ」ってご存知ですか?

比和の博物館には3種類のツノトンボ(オオツノトンボ・キバネツノトンボ・ツノトンボ)を展示しています。

ツノトンボは、アミメカゲロウ目ツノトンボ科に属する昆虫です。

本州、四国、九州に分布し、トンボとよく似ていますが、触角(しよっかく)が翅(はね)の長さを超えるほど長く、オスの体は強い異臭を放ちます。シオカラトンボよりも小さく、体長は30mm余りで、前翅(まえはね)の長さは7~36mmほど。基部の細くなる透明の翅2対は、脈室(みやくしつ)がよく発達し、先端部に近い前縁(ぜんえん)にはトンボのものとよく似た縁紋(えんもん)があります。大きな複眼(ふくがん)と細長い腹部もトンボに似ており、トンボの一種と誤っている人が多いようですが、トンボとは類縁関係がまったく異なる脈翅類(みやくしるい)の昆虫なのです。

ツノトンボの幼虫はアリジゴクに似た姿で、草原のスキの根株などに生息し、生きた昆虫を食べています。不完全変態の昆虫で蛹(さなぎ)の時代はありません。盛夏にあらわれる成虫も、幼虫と同じくかむ口をもち、不用意につかむと指をかまれます。蚊などの小昆虫を捕らえて食べます。アミメカゲロウ目には、ヘビトンボという仲間もいます。



●ツノトンボ



●キバネツノトンボ



●ヘビトンボ



●オオツノトンボ

休日診療のご案内

9月・10月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

9月12日(日)	笠間医院	☎0824-72-0535
19日(日)	林医院	☎0824-72-0121
20日(月)	藤野医院	☎0824-72-4646
23日(木)	毛利医院	☎0824-72-2863
26日(日)	戸谷医院	☎0824-72-3131
10月 3日(日)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111
10日(日)	児玉医院	☎0824-72-0147

●東城地域

9月12日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
19日(日)	細川医院	☎08477-2-0054
20日(月)	東城病院	☎08477-2-2150
23日(木)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
26日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
10月 3日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
10日(日)	三上クリニック	☎08477-2-1151

**市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX**

市街地の空き店舗を活用した、
各種展示ができる市民ギャラリーです。

第6回 絵てがみ展

とき 10月8日(金)~10日(日)
10時~17時

☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はおりません。

ゆめさくら ☎0824-75-4411

【9~10月のイベント情報】

▶ゆめさくら講座

○郷土料理教室

「秋の味~なば・栗・いも料理」

とき 10月7日(木)10時~14時

参加費 1,500円 定員 各30人

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

★出展者募集中! あなたの店を開こう。
★毎月20日が出店申込締切です。

★申し込みは
交流サロンラッキー ☎0824-72-0075まで

10月 《とき》 10月9日(土) 10時~14時
《ところ》 中本町商店街周辺
(のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>